シャワールーム

スタンダードタイプ
レインシャワータイプ

組立説明書

●●● sanwacompany

110111MH1324

目次

1. 組立・設置範囲

(1) 組立範囲について

(1)-1. 別途工事

・基準墨出し工事。

・スリーブ位置墨出し工事。

・給水・給湯・雑排水等　配管用の建築・床・壁の墨出し・穴開け・埋め戻し工事。

・はつり工事。

・電気配線工事。　　（但し、照明器具よりのケーブルは、特記事項に依る。）

・給水・給湯管。

・排水管。　　（但し、雑排水トラップよりの引出し配管は、特記事項に依る。）

・換気設備。　　（但し、ユニット天井パネル開口と補強材付設は、特記事項に依る。）

・残材の場外搬出作業。（但し、ユニット側持込み材に対する残材はユニット側の持帰りとする。）

・ユニット外装工事。

・ガス配管工事（給湯システム付帯工事）。

・ユニット引き渡し後における清掃作業。

(1)-2. 無償にて支給：貸与願う資材：設備等

・現場作業用動力：光熱：水：その他。

・ユニット搬入用リフト等の運搬設備。

(1)-3. 品質保証

品質保証の内容は下記の通りとさせていただきます。

・カシ担保期間　防水性能・・・お引渡し後　5年間

その他の部分・・・お引渡し後　1年間　但し、電球やパッキンなどの消耗部品は適用除外

・免責事項

取扱い説明書によらない使用上の誤り及び不当な修理、改造による損傷。

火災・地震・水害等、天変地異による損害。

その他上記に準ずる製造・組立以外の損傷。

水抜き忘れの凍結による水栓破損。

当社手配できない部品の損傷。

(1)-4. その他

・労災保険及び火災保険は含んでおりません。

・受理後の仕様変更は再見積させて頂きます。

・諸官庁への申請、承認手続きは含んでおりません。

・その他、現場で発生する要望事項などについては、その都度充分に打ち合わせをお願いします。

2. 安全上のご注意

(1).安全上のご注意(必ずお守りください)

ケガや事故防止のため、以下のことを必ずお守りください。
※組立の前に、この安全上のご注意を必ずお読みの上、正しく組立してください。
※ここに示した注意事項は、「警告」「注意」に区分しています。

{表示マークの説明}
表示内容を無視して誤った組立をしたときに生じる、危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。

	警告	この表示の欄は「死亡または重傷等を負う可能性が想定される」内容です。
	注意	この表示の欄は「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

◎お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

	この絵表示は気を付けていただきたい「注意喚起」の内容です。
	この絵表示は、してはいけない「禁止」の内容です。
	この絵表示は、必ず実行していただく「強制」の内容です。

◎組立完了後、各部の点検を行ない、器具のがたつきや漏電・水もれなど安全上の不具合が無いことを確かめてください。
◎本体や水栓金具その他機器に同梱されている取扱説明書は、使用者に製品を正しく安全に使用していただくための重要な書類です。紛失したり汚れたりしないよう大切に保管し、設置完了後、使用者または建築工事責任者にお渡しください。

警告

電気・ガス・水道工事は、関連する法令、規定に従って、必ず「有資格者」が行なってください。接続や固定が不完全な場合は、火災、漏電、漏水の原因になります。

・器具固定の際、タッピンねじによって照明等のコードを傷つけないでください。
　火災・感電の原因となります。
・商品の改造・仕様変更は絶対にしないでください。故障や、思わぬ事故の原因となります。

注意

・ユニット組立設置は、組立・設置説明書に従って正しく組立してください。
　誤った組立は、ケガをしたり製品に不具合を生じる恐れがあります。
・重量物の持ち運びは一人で行なわず、必ず二人以上で手袋を着用してください。
　一人作業はケガ等の原因となります。
・シリコン塗布の必要な箇所には、確実に行なってください。
　水漏れによりお客さまに損害が発生する恐れがあります。
・換気扇・鏡・タオル掛け・握りバーなどの付属部品は、指定位置に確実に取り付けてください。使用中に落下したり外れたりして、ケガをする恐れがあります。
・ユニットに組み込まれる電気製品・水栓などについては、それぞれの取付説明書・製品本体の表示事項を守り、正しく設置してください。
　設置を誤ると、思わぬ事故や故障の原因となることがあります。
・ドアを開口部に納める時は、パッキンがはがれたり、よじれたりしないようにしてください。水漏れの原因となります。
・給水、給湯管・排水管は確実に取付してください。水漏れの恐れがあります。
・雑排水管差し込み部と差し込まれる両側に塩ビ接着材を全周塗布してください。
　確実に行わないと水漏れの原因となります。
・組立・設置に使われる、溶剤・接着剤・洗剤、その他の薬品類は容器などに記載の注意事項に従って正しくお使いください。
　正しく使用されない場合、人体に影響がでたり、使用部材の損傷や劣化の原因になります。
・壁パネルやFRP製部材に加工を行なう際は、防塵マスク・保護メガネを着用してください。粉塵を多量に体内に吸い込んだり、目に入ったりすると、ケガをしたり健康を損なう恐れがあります。

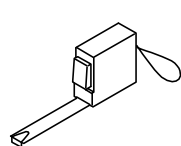
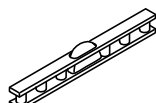
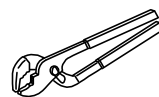
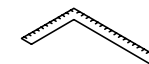
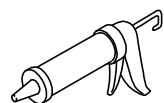
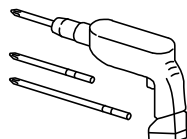
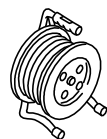
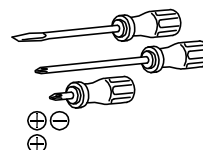
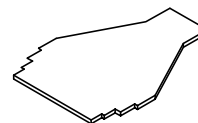
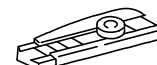
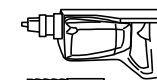
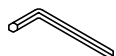
3. 必要工具及び資材

(1) 必要工具及び資材

(1)-1 工具類

●墨つぼ　●ドリル刃(φ5等)　●ディスクグラインダー　●バール

●塩ビ管用鋸　●手袋　●保護メガネ　●防塵マスク　●水張テスト用密栓

●ホルソーφ23(※レインシャワー仕様の場合)

●六角棒スパナ(六角レンチ)
サイズ　2、2.5

(1)-2 組立用資材

●塩ビ管用接着剤　●ウエス

●木片

●養生用毛布

【防水パンを据付ける】

適用機種	スタンダード	レインシャワー		

部材関係項目

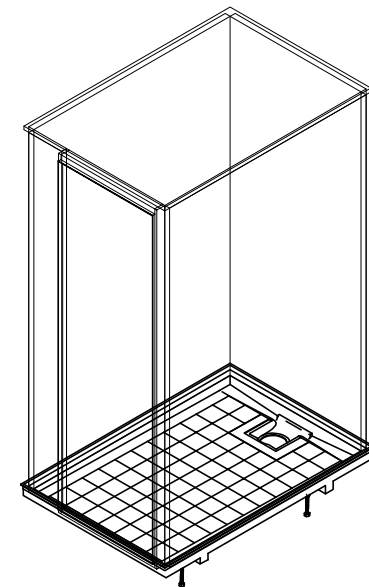
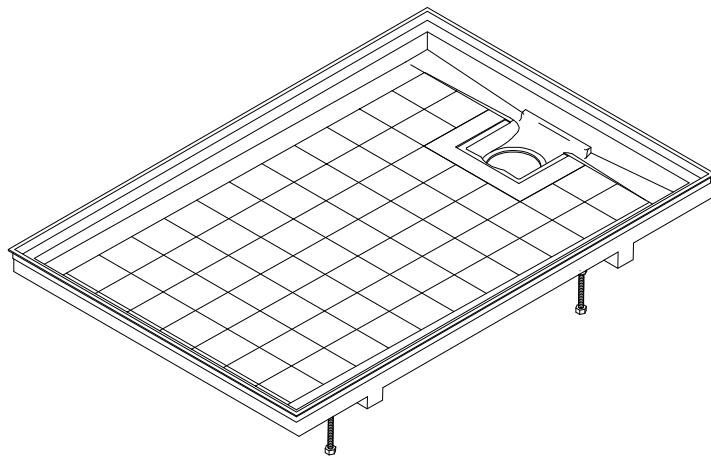
【基本仕様】

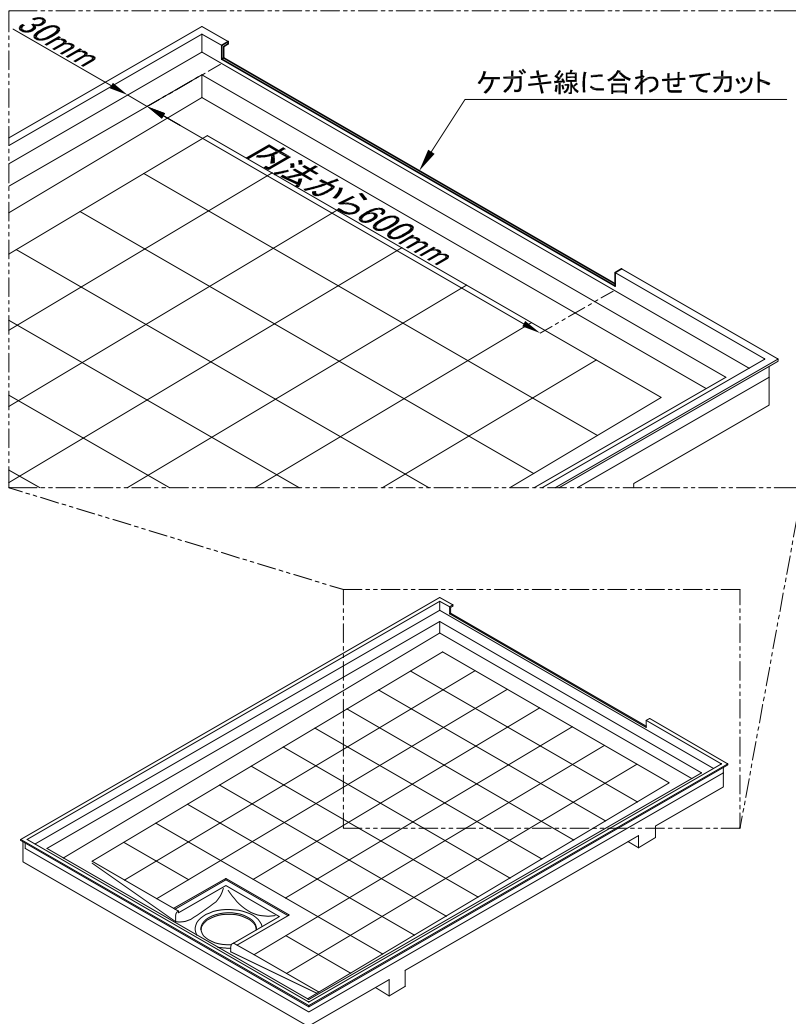
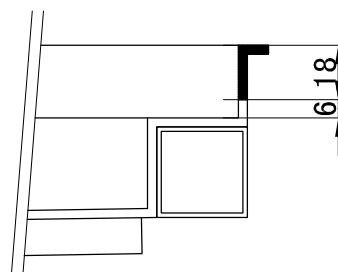
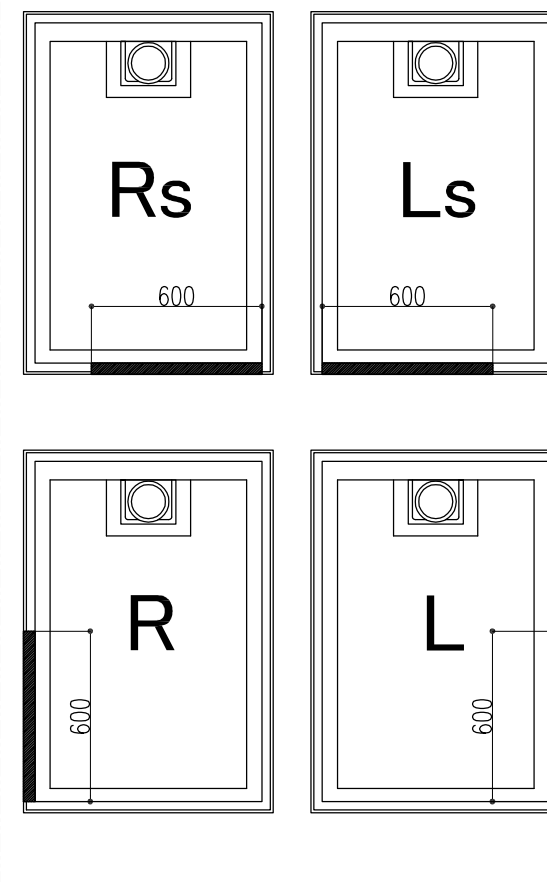
◆防水パン加工◆

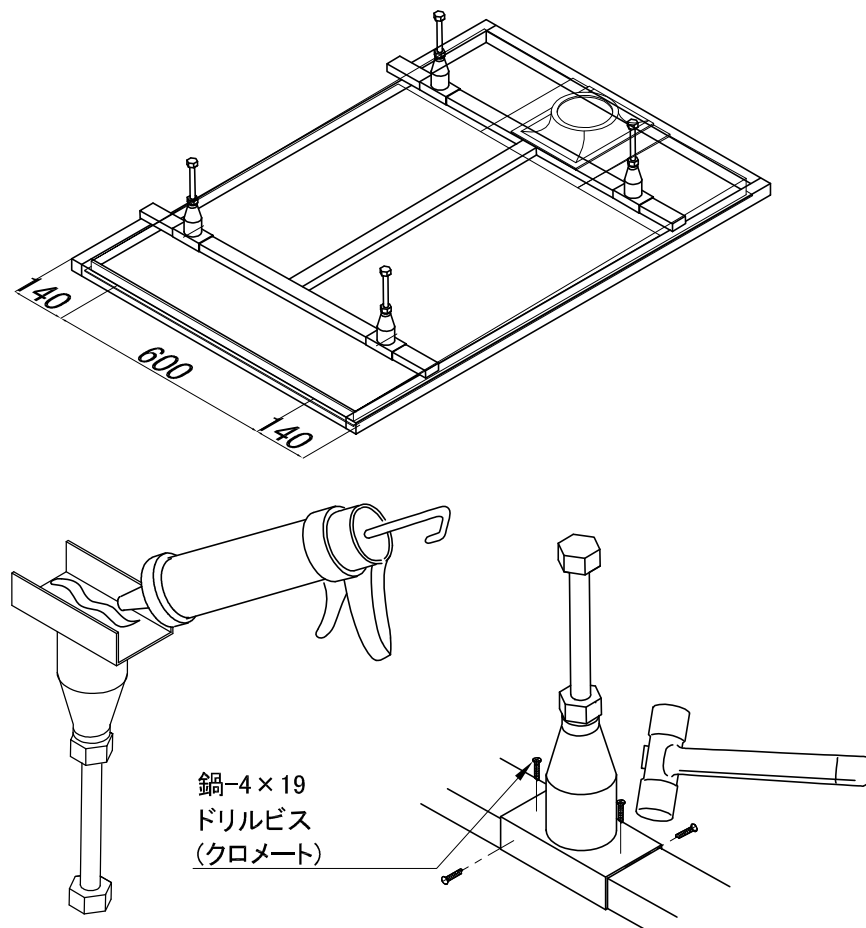
◆床支持金具/排水トラップ取付◆

◆防水パンを据付ける◆

◆雑排水管取付◆

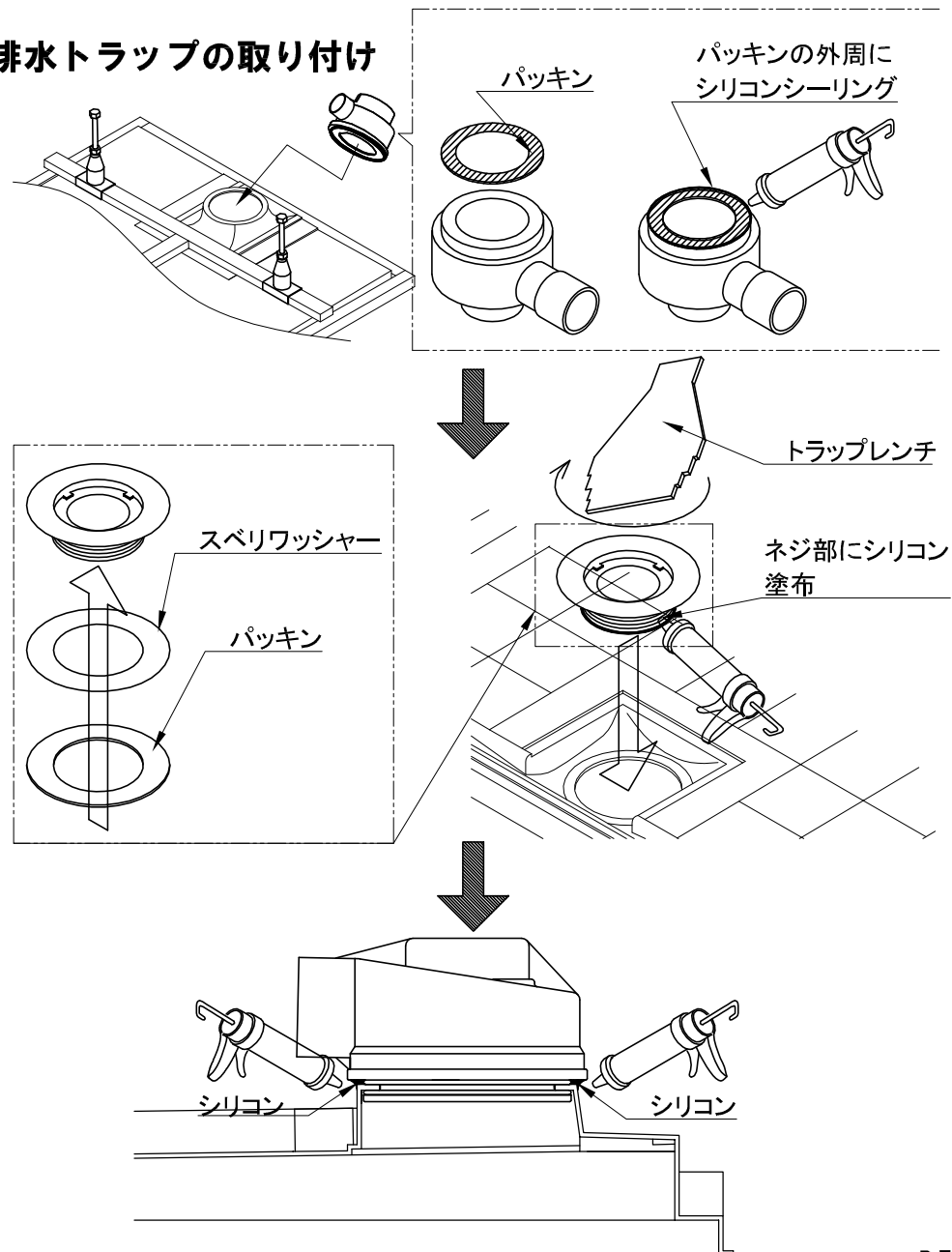
◆水張り試験◆

● 防水パンの加工

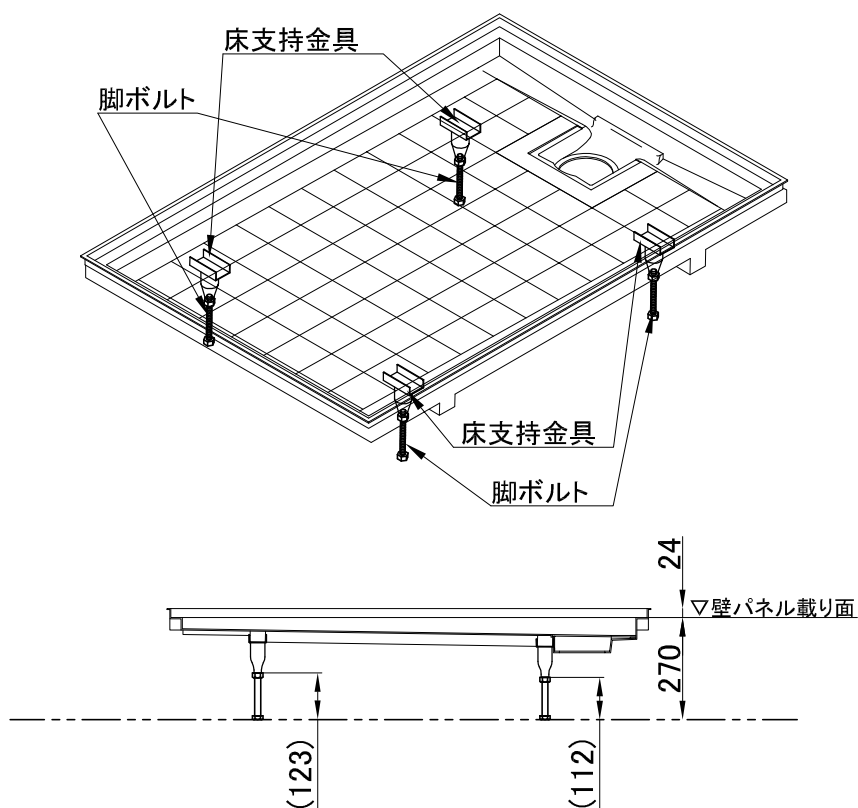
防水パン外周の水返し部分をドアの取付方向に合わせて設置範囲をカットします。

ポイント

ケガキ線にそってカットすることが難しい場合は、外から防水パンの上辺18mmの位置にケガキを入れカットをして下さい。

● 床支持金具の取り付け

防水パンを裏返し、下記要領で床支持金具を4ヶ所取り付けます。

・床支持材金具にシリコンを塗布します。
・防水パンを裏返し、床支持金具を金づち等で奥まで差し込み、ビスで4ヶ所取り付けます。

●排水トラップの取り付け

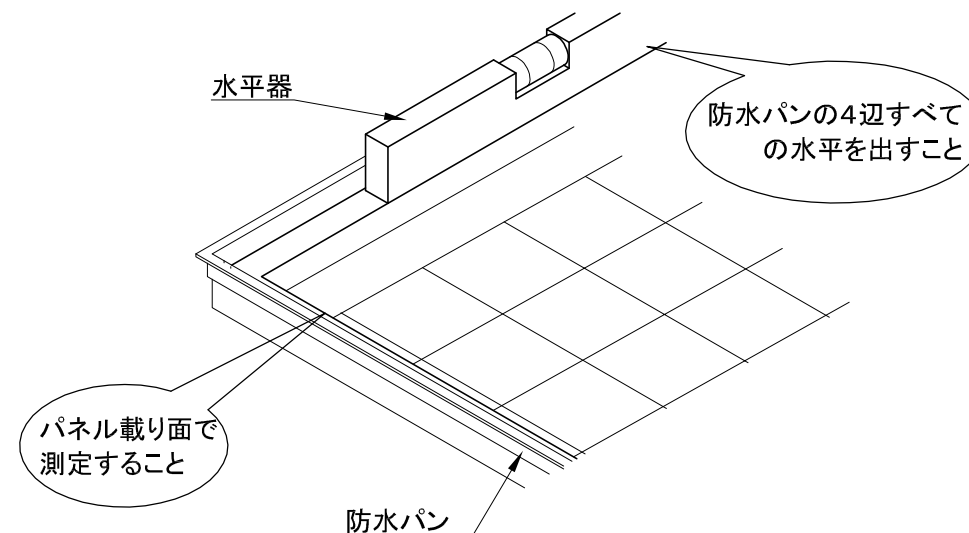
パッキン
パッキンの外周にシリコンシーリング
トラップレンチ
スベリワッシャー
パッキン
ネジ部にシリコン塗布
シリコン
シリコン

組説①-3	◆防水パンを据付ける◆	適用機種	スタンダード	レインシャワー			●●● sanwacompany

● 脚ボルトの調整

① 商品仕様図のUBセット高を確認の上、下図要領で脚ボルトの調整を行います。

防水パンを伏せる前に、上図の脚ボルト寸法に、調整しておきます。

※上図の寸法はUB標準セット高で表記しています。

② 下図要領で、防水パンの水平と、セット高を微調整します。

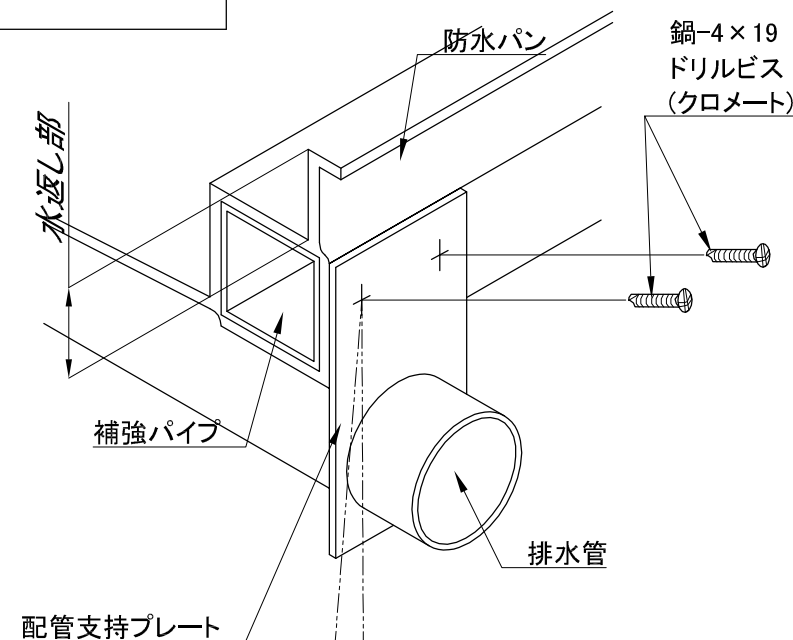
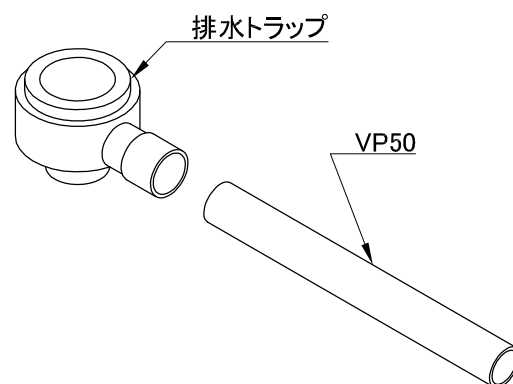
防水パンの水平は下図の要領で測定してください。

● 雑排水管の取付

商品仕様図の排水管経路を参照の上、下図要領で接続し、配管支持プレートで防水パンに固定してください。

※配管経路・けり出し位置は各現場打合せにて決定してください。

設置上のご注意

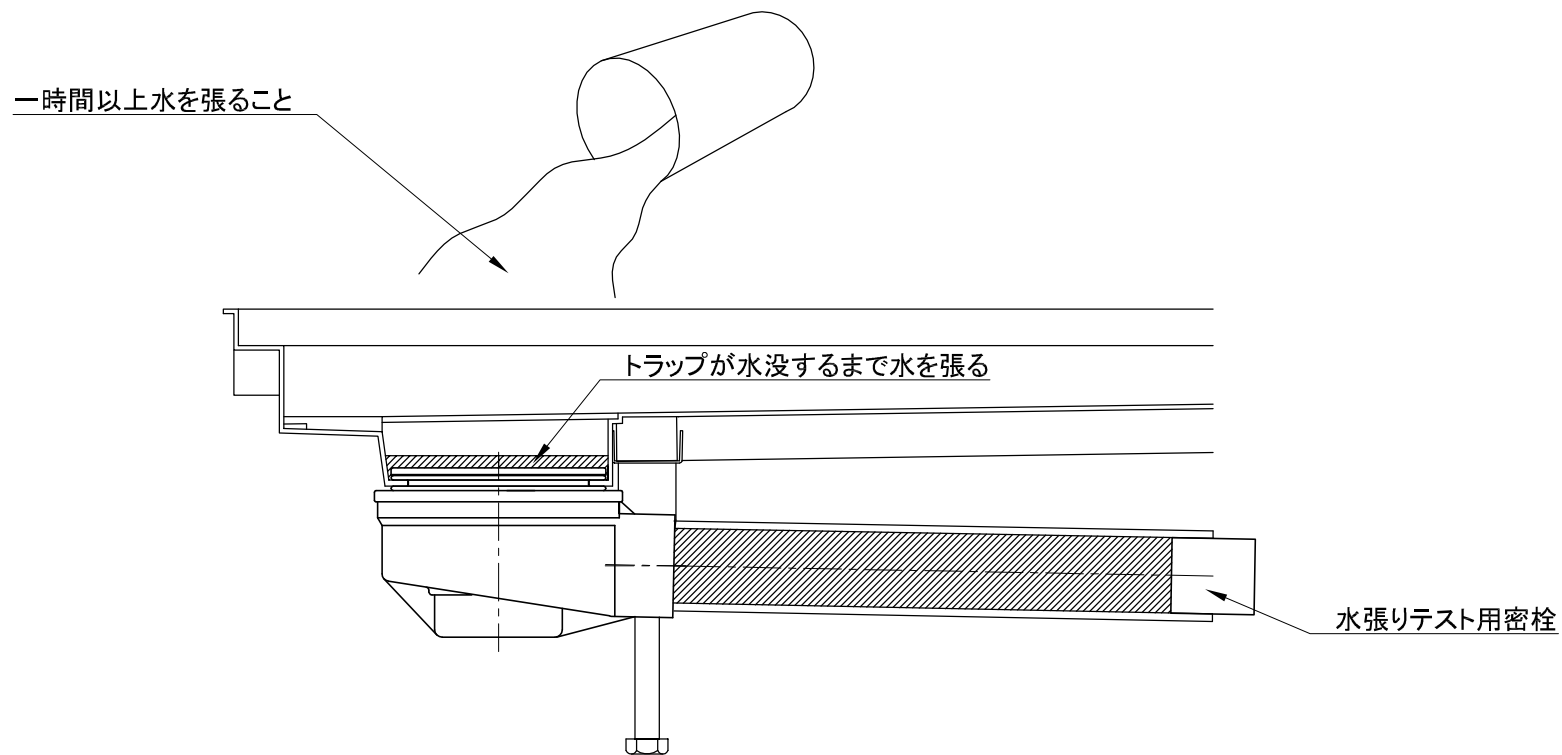
1.本セットには現場の状況に合わせて、排水配管を組み立てて頂く部材が入っております。
2.排水配管は、商品仕様図の寸法を参照し、現地で切断して頂きますようお願いいたします。
3.配管勾配は全て1/50です。

補強パイプの入っている位置にビス留めをすること。
※水返し部にはビス留めしないこと。

⚠ 排水管を接着する際は塩ビ管接着剤で確実に接着してください。
接着が不十分であると水漏れ事故が発生する恐れがあります。

◆水張り試験◆

適用機種	スタンダード	レインシャワー		

設置上のご注意

❗ 左図のようにして、配管つなぎ部の水漏れ確認テストを行ってください。

部材関係項目

【基本仕様】

◆防水パン下準備(1)◆

◆防水パン下準備(2)◆

◆壁パネル下準備(1)◆

◆壁パネル下準備(2)◆

◆壁パネル下準備(3)◆

◆壁パネル下準備(4)◆

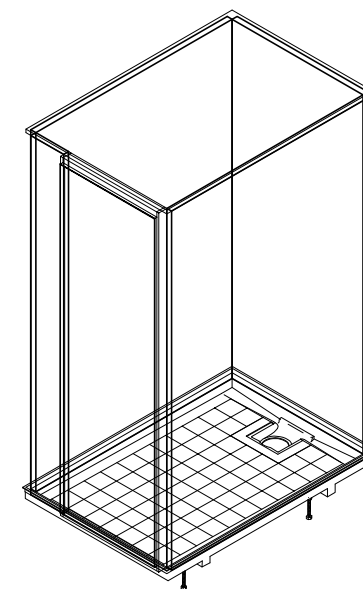
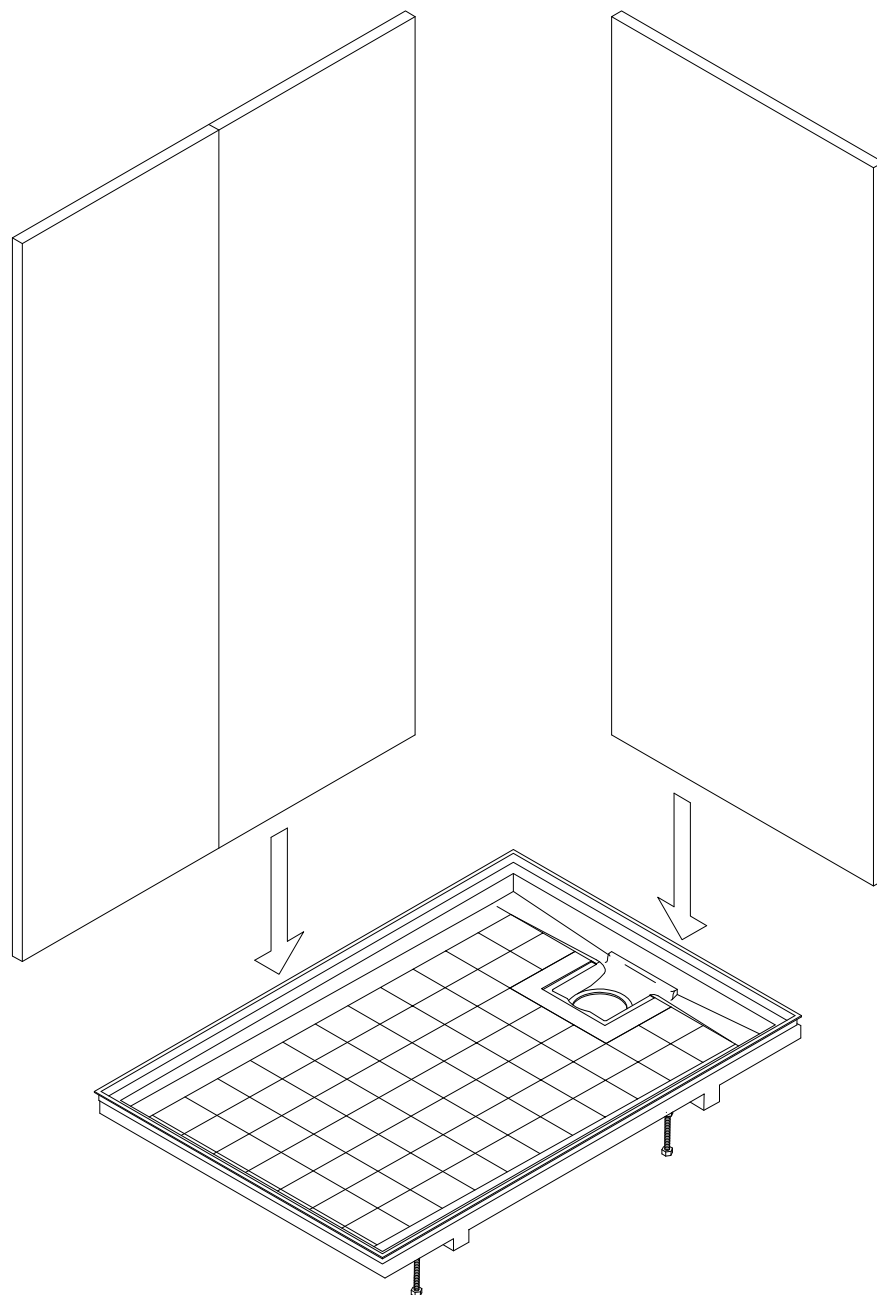
◆パネルを組み立てる◆

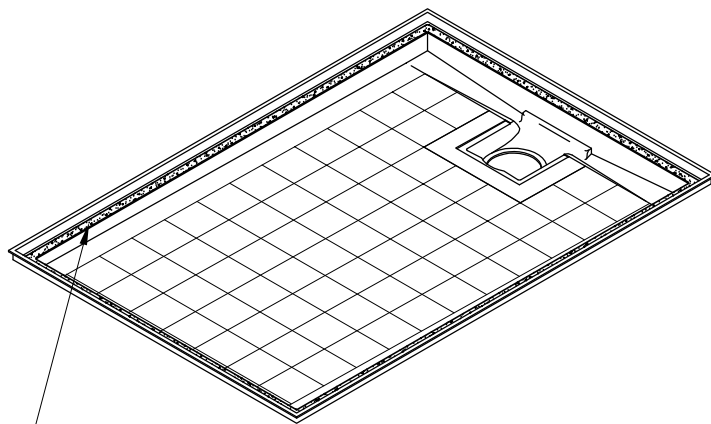
◆ドア本体の下準備◆

◆把手を取り付ける◆

◆ドア枠を取り付ける◆

【レインシャワータイプ】

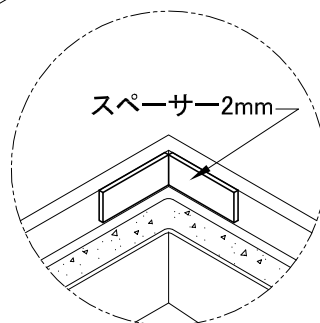
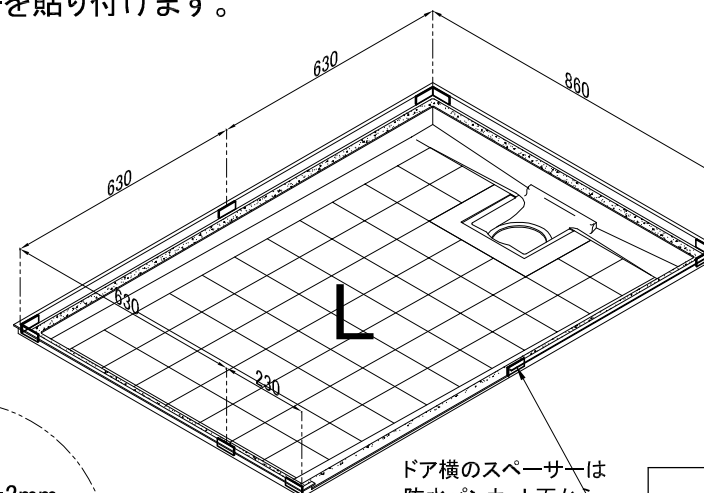
◆壁パネル下準備【レインシャワータイプ】◆

● クッションパッキンを貼る

パネル載り面にクッションパッキンを貼り付けます。

クッションパッキン(白 幅15mm 厚2mm)

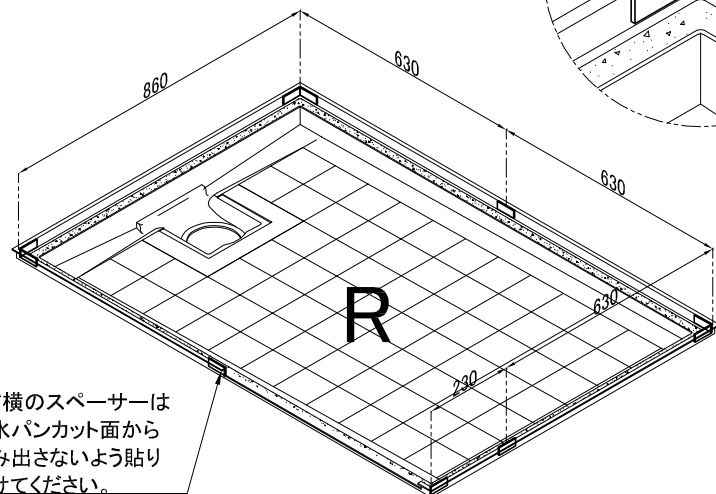
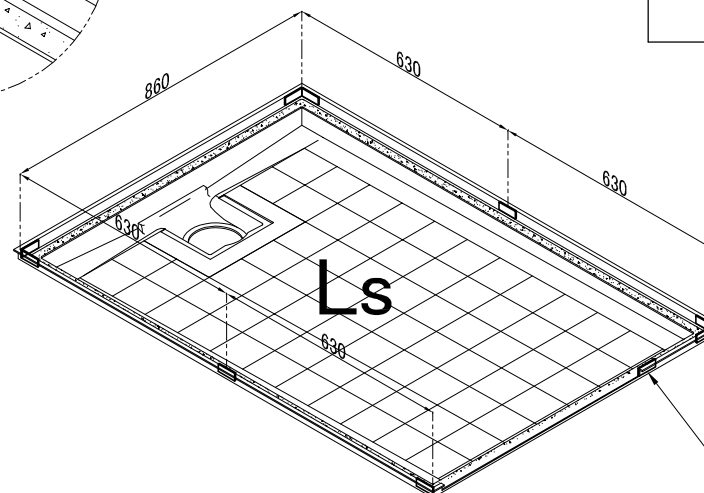
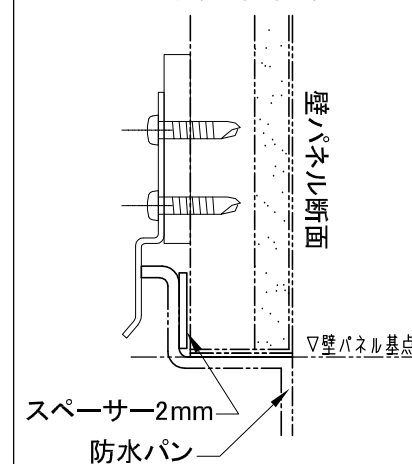
設置上のご注意

パッキンは貼り付け面を清掃の上、継ぎ目を作らず確実に貼り付けてください。

● スペーサーを貼る

防水パン(壁載り面奥行き約30mm)に壁パネル(厚み27mm)を
載せたときにできる隙間を埋めるためにスペーサーを貼り付けます。

ドア横のスペーサーは
防水パンカット面から
はみ出さないよう貼り
付けてください。

ドア横のスペーサーは
防水パンカット面から
はみ出さないよう貼り
付けてください。

スペーサー2mm

取付上のご注意

スペーサーは壁パネルを載せたときに壁パネルのパイプに当たるように配置してください。

ドア横のスペーサーは
防水パンカット面から
はみ出さないよう貼り
付けてください。

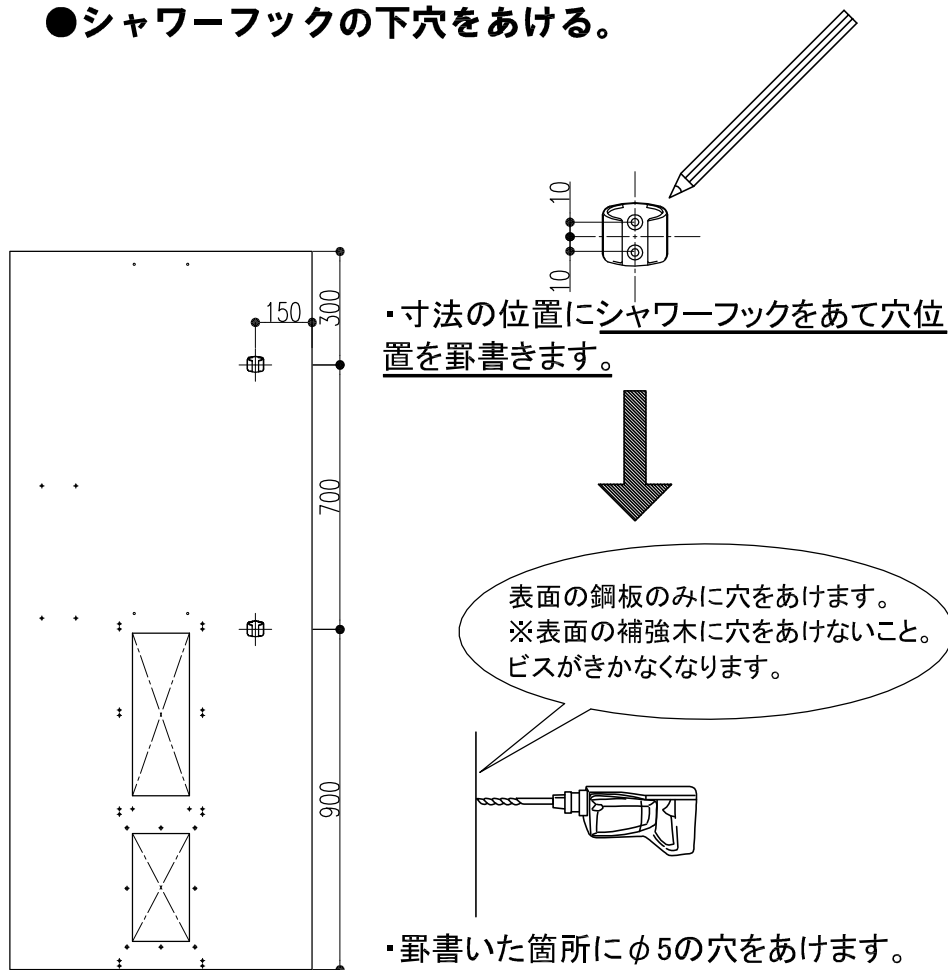
ドア横のスペーサーは
防水パンカット面から
はみ出さないよう貼り
付けてください。

<シャワーフックを選択の場合>

●シャワーフックの下穴をあける。

150
300
700
900

・寸法の位置にシャワーフックをあて穴位置を罫書きます。

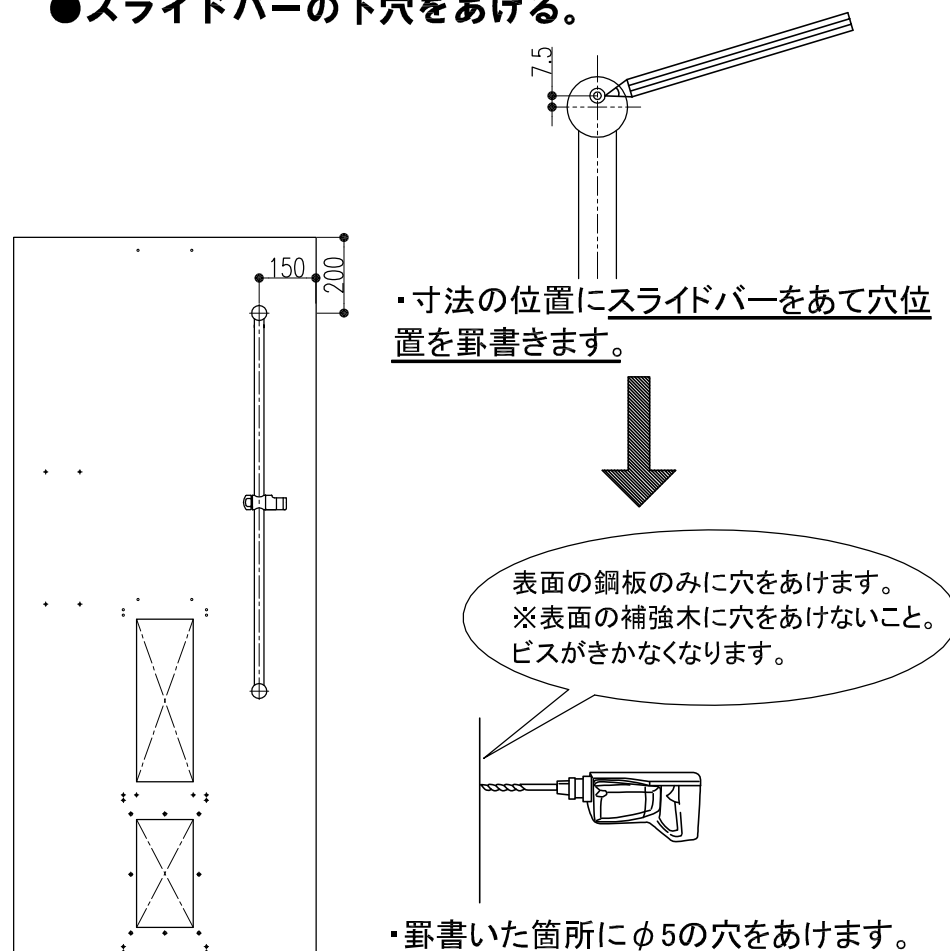
・罫書いた箇所にφ5の穴をあけます。

作業前に

上記寸法は器具取付位置を示すものであり、穴開口位置を示すものではありません。

<スライドバーを選択の場合>

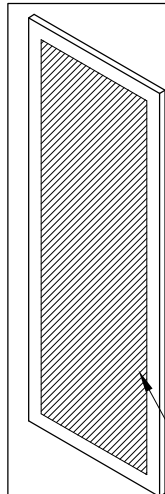
●スライドバーの下穴をあける。

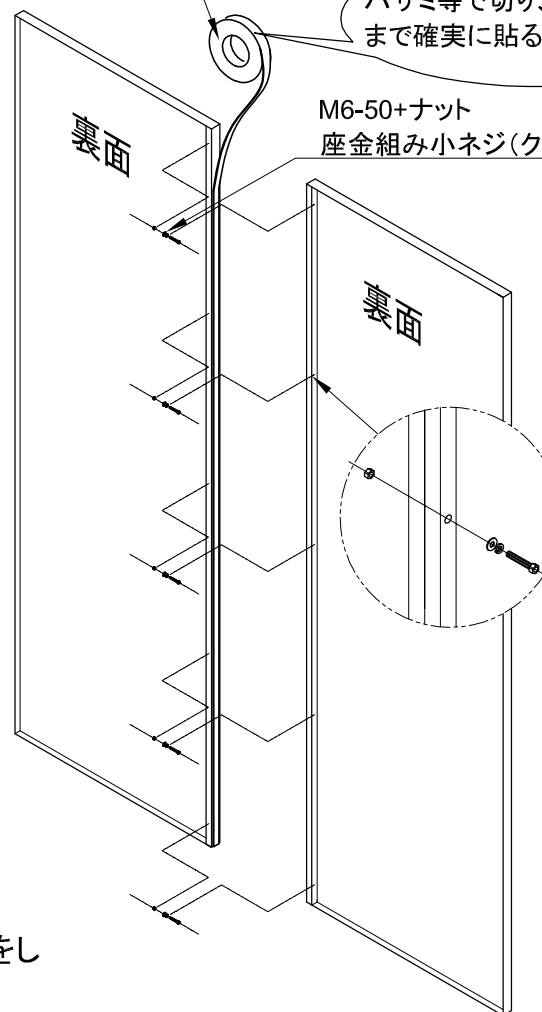
・寸法の位置にスライドバーをあて穴位置を罫書きます。

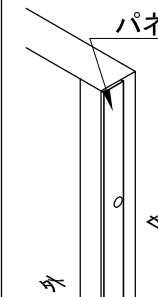
・罫書いた箇所にφ5の穴をあけます。

作業前に

上記寸法は器具取付位置を示すものであり、穴開口位置を示すものではありません。

● 壁パネルをジョイント(平繋ぎ)する

作業前に

・パネル裏の発泡スチロールは全て除いて下さい。
・パネルのジョイントや建て込む際に保護シートを巻き込まないようパネル外周のみはがし、図の様に表面を残します。
※完全にはがしてしまうと組立時に汚れがつく恐れがあります。

パネルを平つなぎする際は、ジョイント部にズレがでないよう調整をしながらつなげてください。

取付上のご注意

図の位置にパッキンを貼ってください。

※パッキンを手前に貼ってしまうと、シリコン塗布の際にシリコンが付きにくくなります。
また、パッキンと平つなぎの穴が重なるためパッキンに下穴をあけてください。

● コーナーアングル・Lアングル取付

下図のようにパネルを建て込みます。

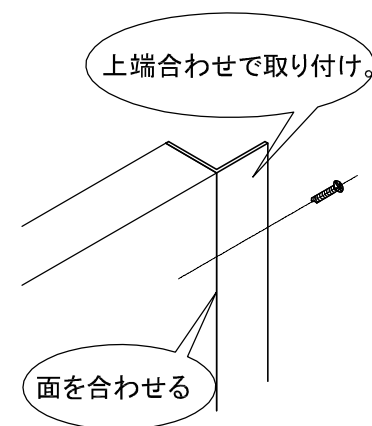
ドア横Lアングル

内組みコーナーアングル

鍋-4×19
ドリルビス
（クロメート）

鍋-4×19
ドリルビス
（クロメート）

※表現上ドアを記載していますが、ここではまだドアの取付はしません。

内組コーナーアングル取付時のビス位置はほぼ均等に5ヶ所につけます。

ドア横Lアングル取付時の穴位置に合わせてビスを打ってください。

取付上のご注意

⚠ 内組コーナーアングルを取り付ける際にはパネル側面のビス取付穴に取り付けないよう注意してください。

● 壁パネルにZ金具をつける(1)

※Z金具を取り付ける箇所の水返しの幅を計って貼り付けるスペーサーの厚みを割り出します。

水返し(幅 =a)	スペーサー(厚み=b)
10mm	4mm
9mm	3mm
8mm	2mm

※水返し部分の寸法(a)は製品上安定しないため、スペーサーで調整しなければいけません。水返しの幅によってスペーサーの厚みも変わります。(表を参考にしてください。)

※表現上ドアを記載をしていますが、ここではまだドアの取付はしません。

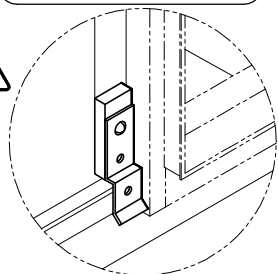
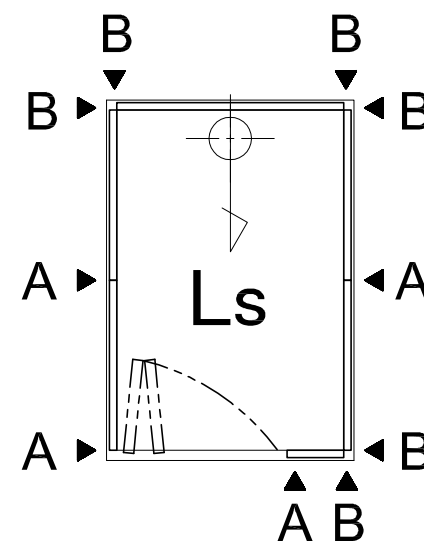
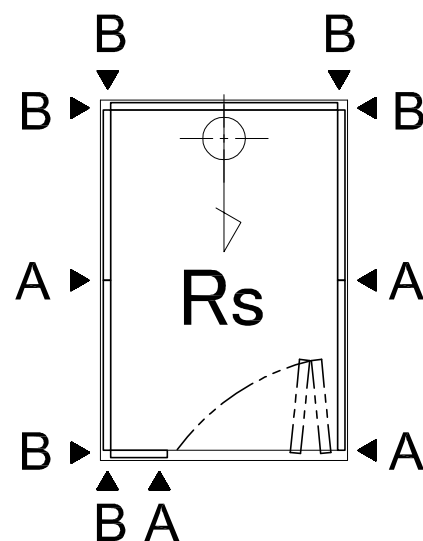
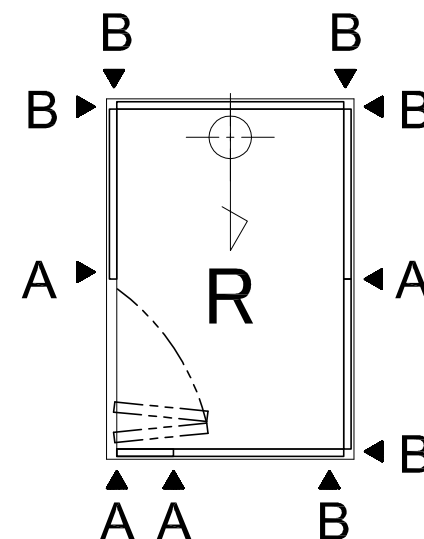
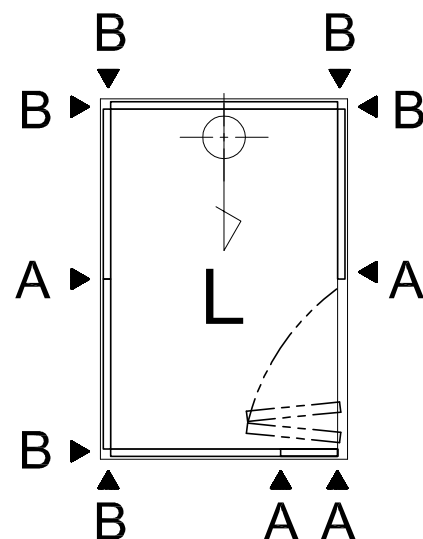
水返し(幅 =a)	スペーサー(厚み=b)
10mm	2mm
9mm	1mm
8mm	無し

※水返し部分の寸法(a)は製品上安定しないため、スペーサーで調整しなければいけません。水返しの幅によってスペーサーの厚みも変わります。(表を参考にしてください。)

※コーナーアングル(厚み2mm)がついている場合、コーナーアングルの上からZ金具を取り付けるため、コーナーアングル無しの場合に比べてコーナーアングルの厚み分、スペーサー(厚み=b)は薄くなります。

A-内組コーナーアングルがつかない箇所
B-内組コーナーアングルつく箇所
※詳細は前ページ参考

※表現上ドアを記載いていますが、ここではまだドアの取付はしません。

取付上のご注意

ドア横取り付けのZ金具は壁からはみださないよう貼り付けてください。
※はみだすとドア枠が当たり取付できません。

● フレキ管を固定する

・レインシャワータイプの場合は壁パネルを建て込む前に図のようにフレキ管を固定します。

天井から寄せられるようにフレキ管を曲げて固定をします。

フレキ管

保護材

両面テープ

保護材に両面テープが貼ってあります。剥離紙を剥がして、フレキ管に巻いてください。

フレキ管

サドルバンド

鍋−4×16 タッピングビス (クロメート) +ワッシャー

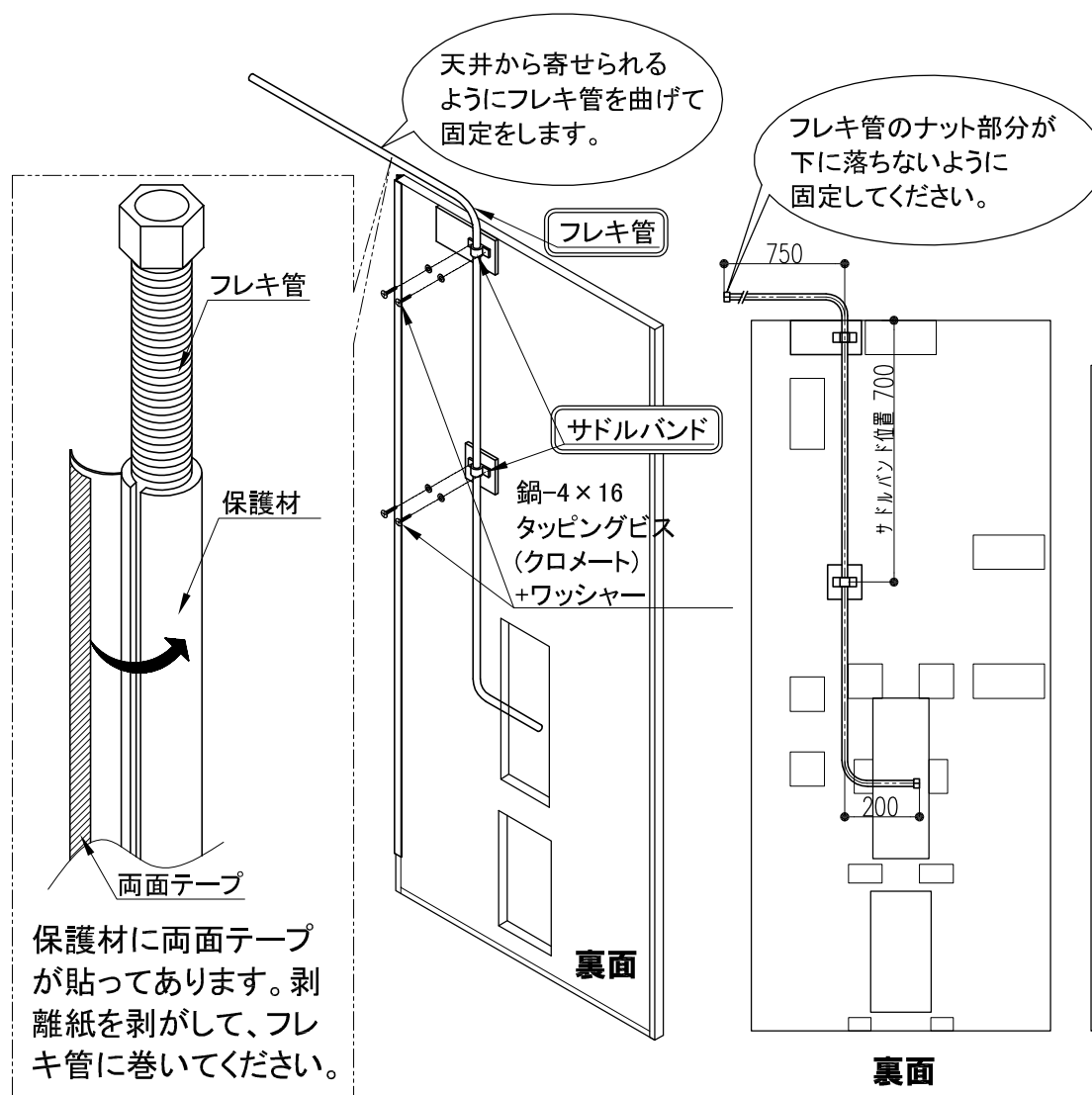
裏面

フレキ管のナット部分が下に落ちないように固定してください。

750

サドルバンド位置 700

200

裏面

取付上のご注意

サドルバンド固定ビスは必ず決められた長さのものをご使用ください。
※長すぎると壁パネルをキズつける恐れがあります。

意図

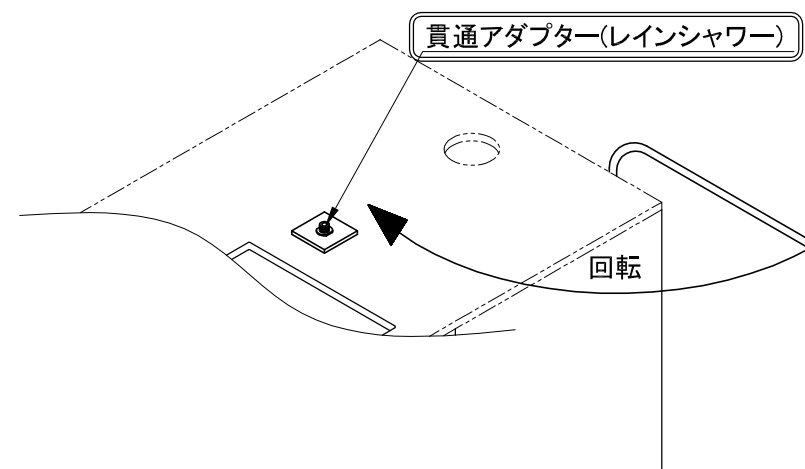
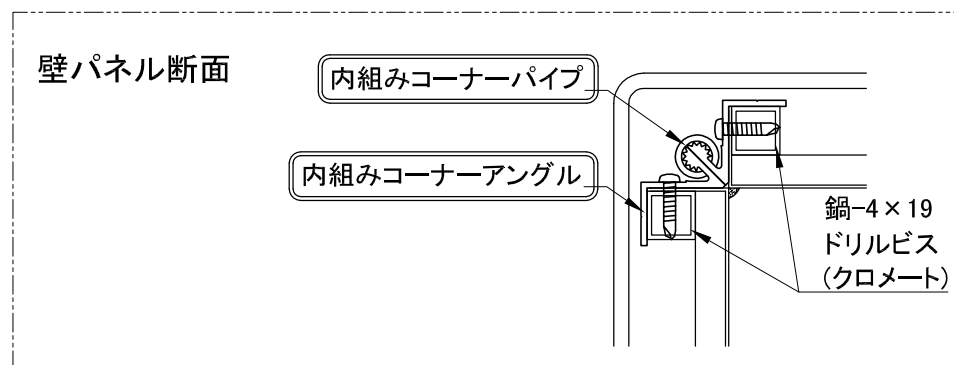
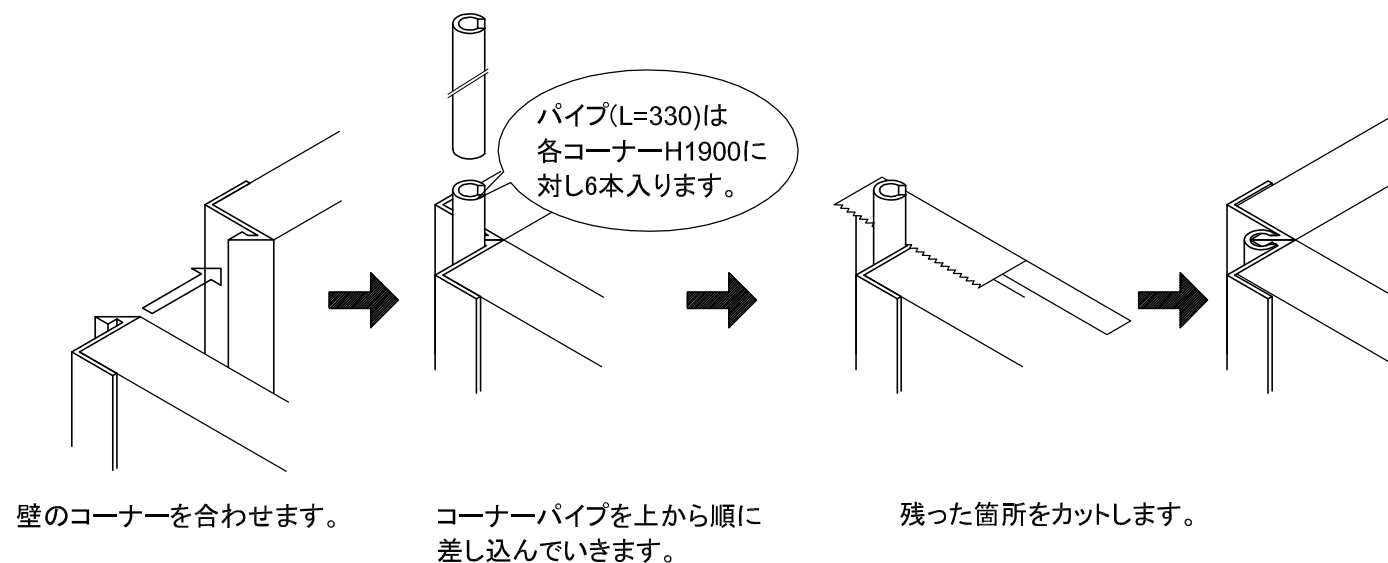
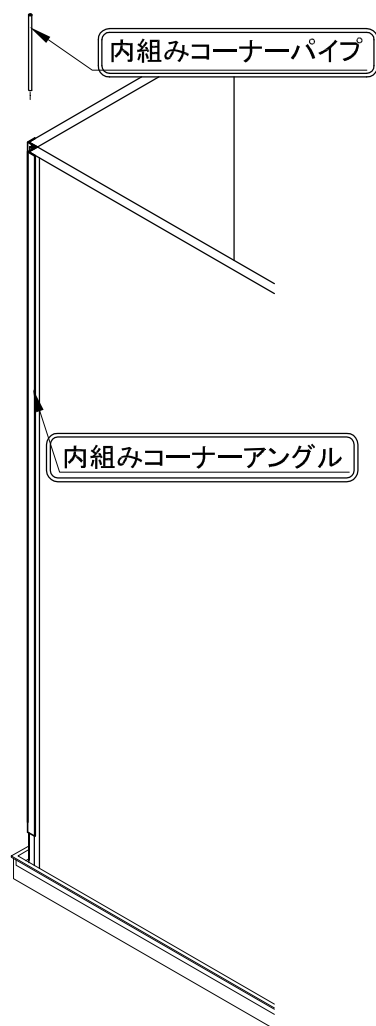
フレキ管をサドルバンドで留めた部分を軸に回転させ、貫通アダプター(レインシャワー)に接続するため。

● パネルを建て込む

壁のコーナーを合わせます。

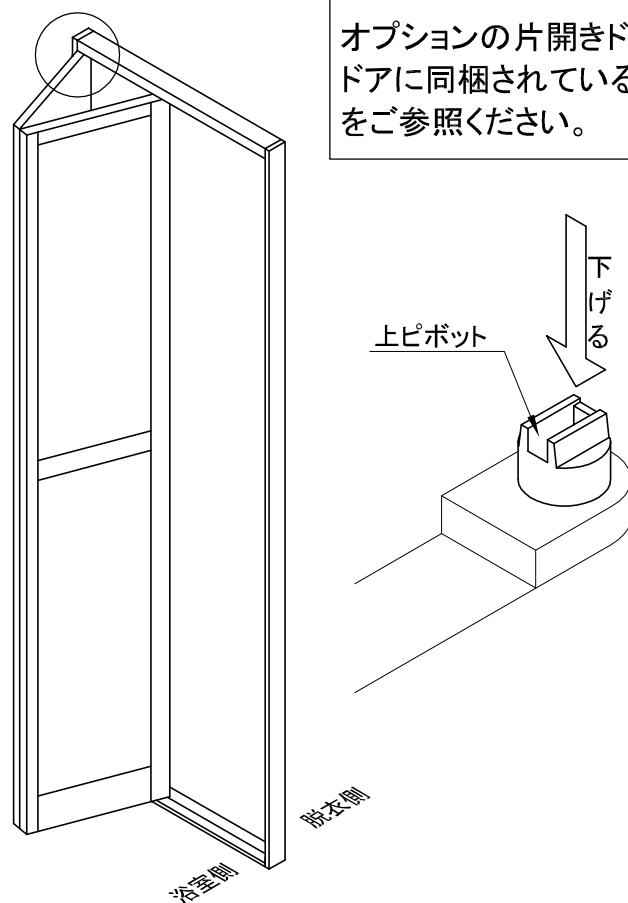
コーナーパイプを上から順に
差し込んでいきます。

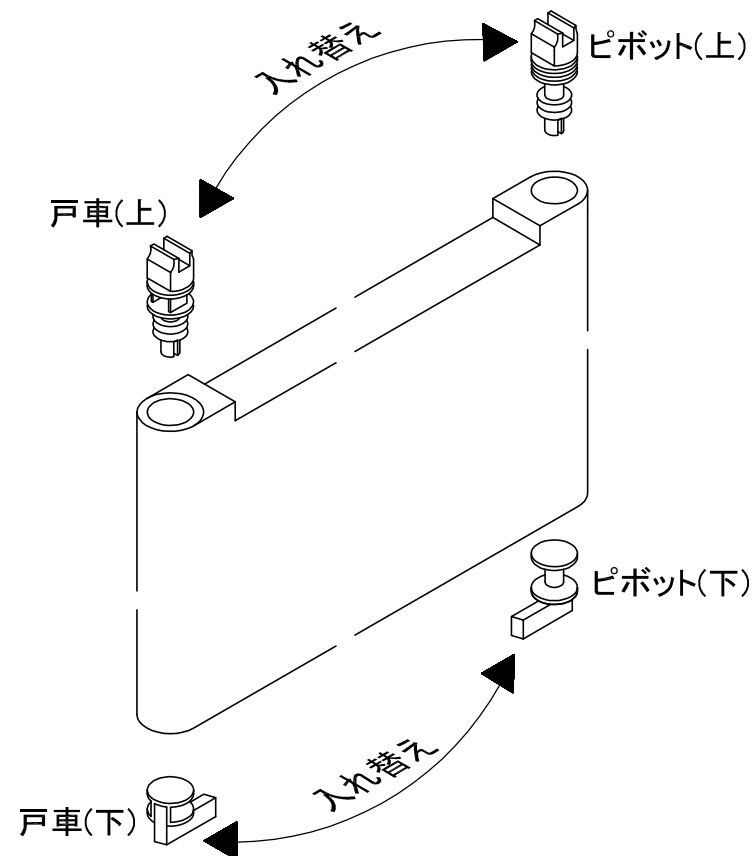
残った箇所をカットします。

◆ドア本体の下準備◆

● ドア本体を外す

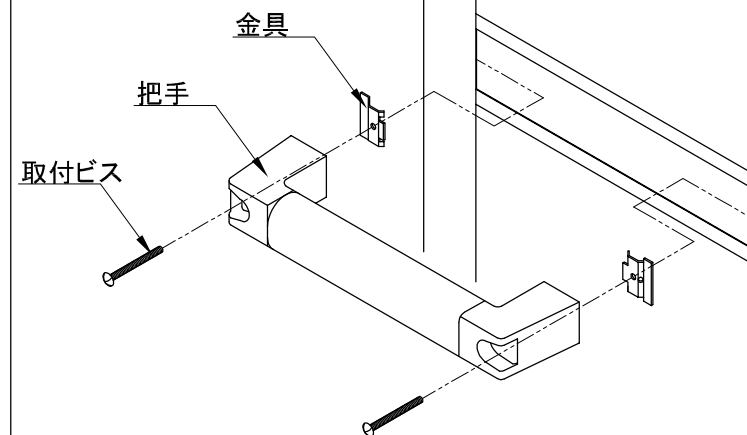
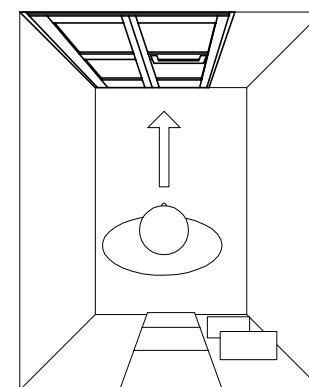
ドアを完全に開いてピボット側框の上ピボットを
引き下げてください。
そのままドアを傾ければ、ドアははずれます。

作業前に

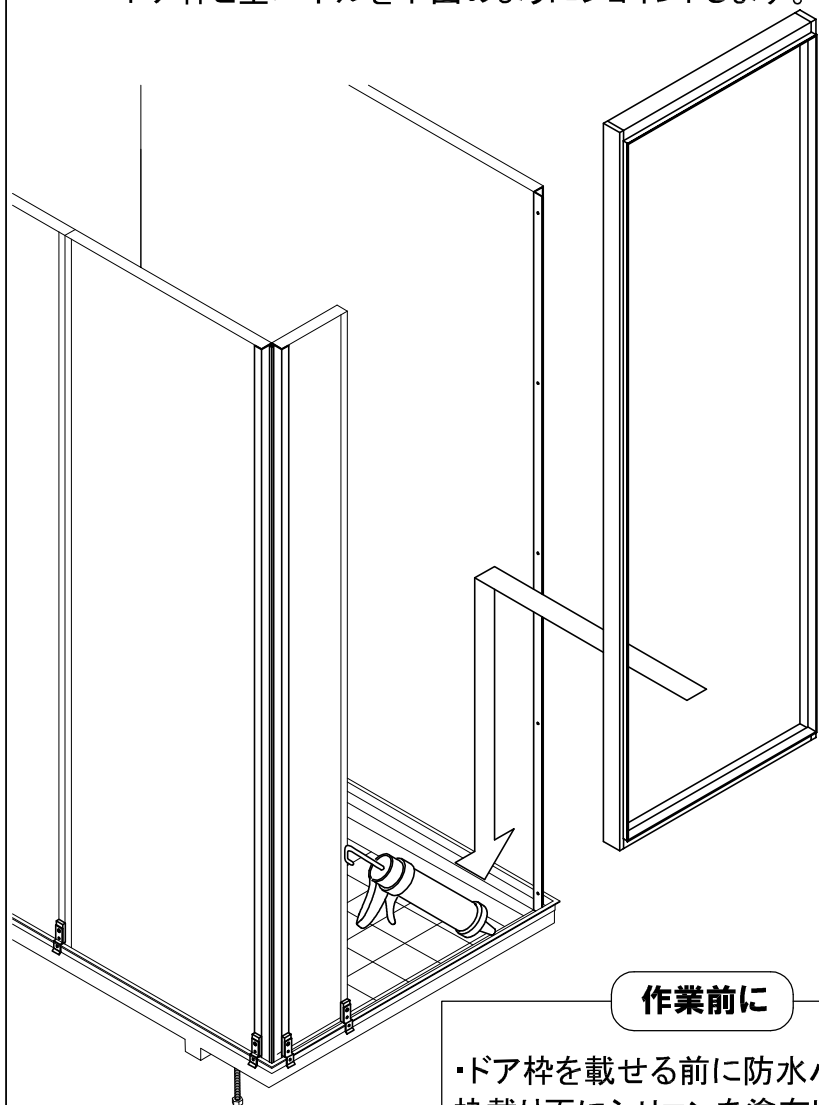
オプションの片開きドアの場合は
ドアに同梱されている取付説明書
をご参照ください。

● 左右吊元の変更

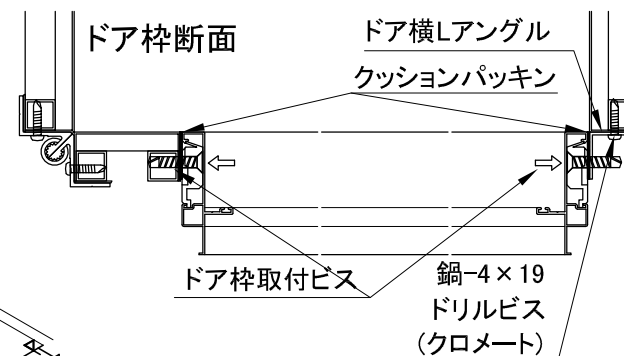
ドアを取りはずしてピボットと戸車を框より引抜き、上は上、
下は下同士で入れ替えてください。

※ピボットと戸車を間違えないように注意してください。
（ピボットにはストッパー部が付いています。）
※ドア本体の取付は天井を固定してからになります。

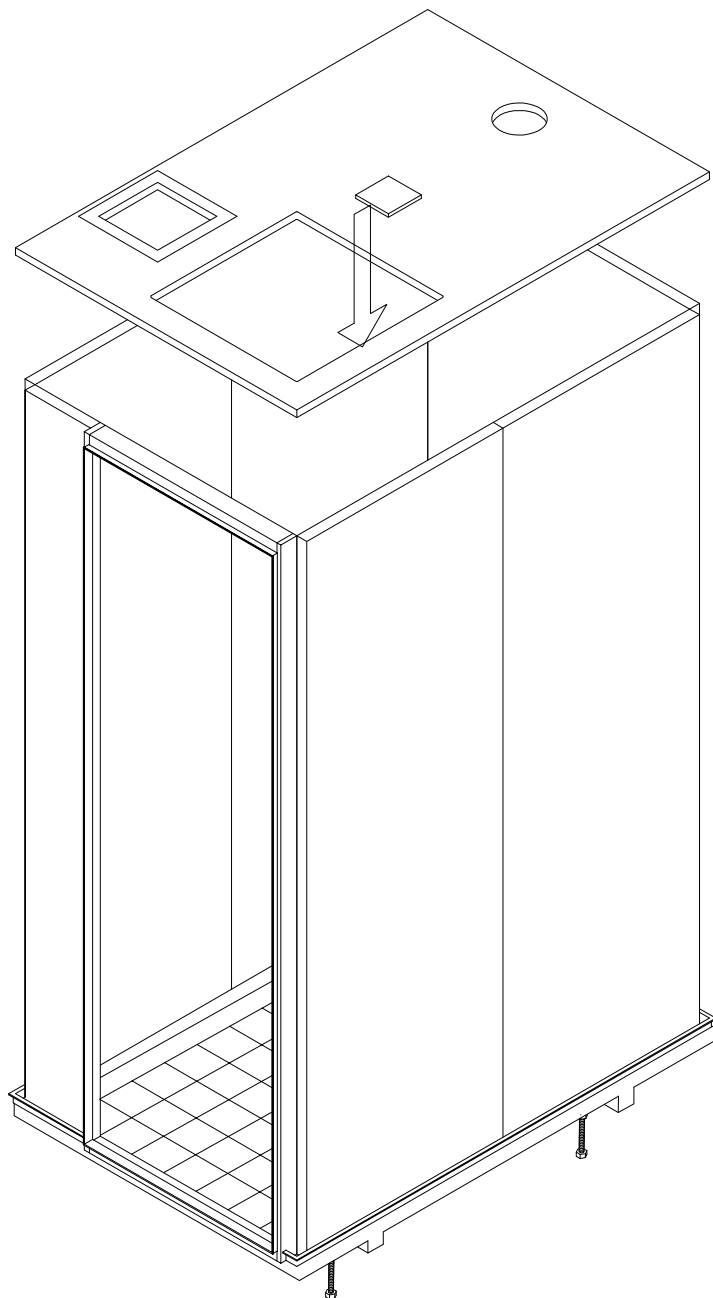
● 把手を取り付ける

※バリエーションによって、把手の取付位置が変わります。

※浴室側から見た図となります。

● ドアと壁パネルをジョイントする

ドア枠と壁パネルを下図のようにジョイントします。

作業前に

・ドア枠を載せる前に防水パンのドア枠載り面にシリコンを塗布してください。

設置上のご注意

ドア枠接続の際、ビスを強くもむと枠が変形する恐れがあります。
注意して取り付けてください。

部材関係項目

【基本仕様】

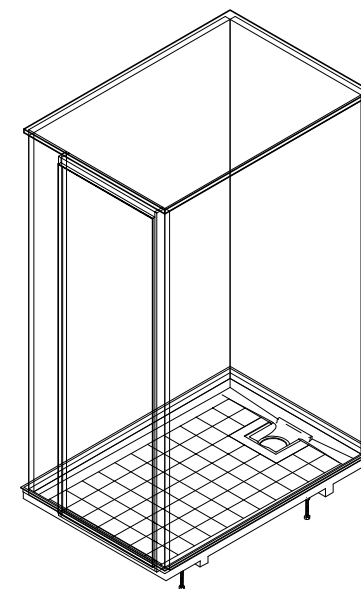
◆天井パネル取付◆

◆建ちを調整する◆

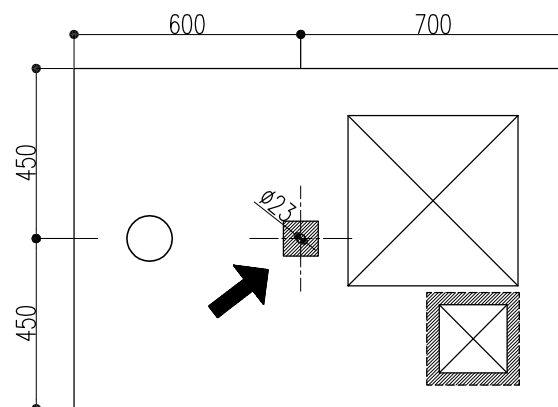
◆ドア本体取付◆

◆基本構成品仕上げ◆

【レインシャワータイプ】

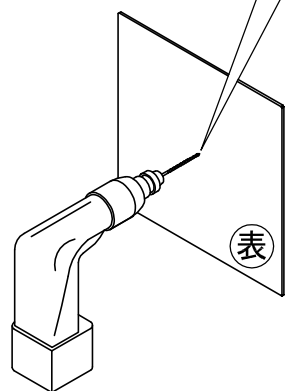
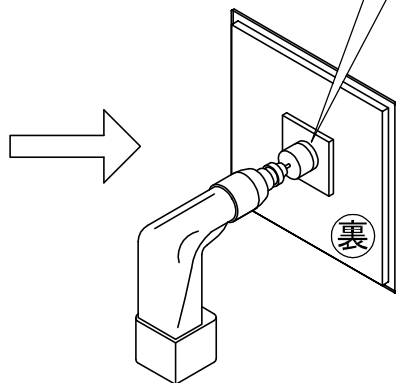
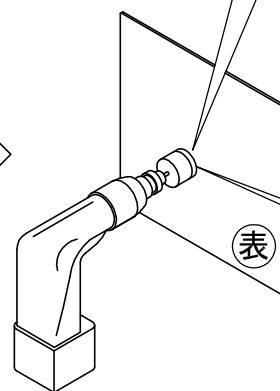
♦天井パネル開口【レインシャワータイプ】♦

● レインシャワー取付穴をあける。

取付詳細

・レインシャワーの場合は図の位置にφ23の穴をあけます。

取付上のご注意

天井開口はレインシャワータイプのみ行います。誤ってスタンダードタイプで開口しないようご注意ください。

作業前に

・壁パネル同様に天井と点検口の保護シートを剥がします。

※必ず上記手順で実施してください。
パネル表面からのみ穴をあけると、裏面の石こうボードがはがれて器具類が取り付けできなくなります。

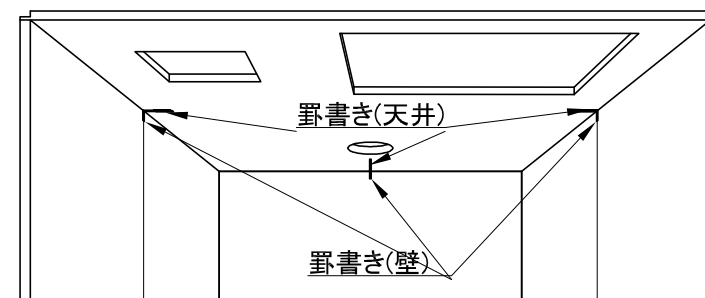
● 天井パネルを取り付ける

・天井点検口蓋を外し、天井を取り付けます。

鍋-4×19
ドリルビス
(クロメート)

天井の取付穴に合わせて
固定すること。

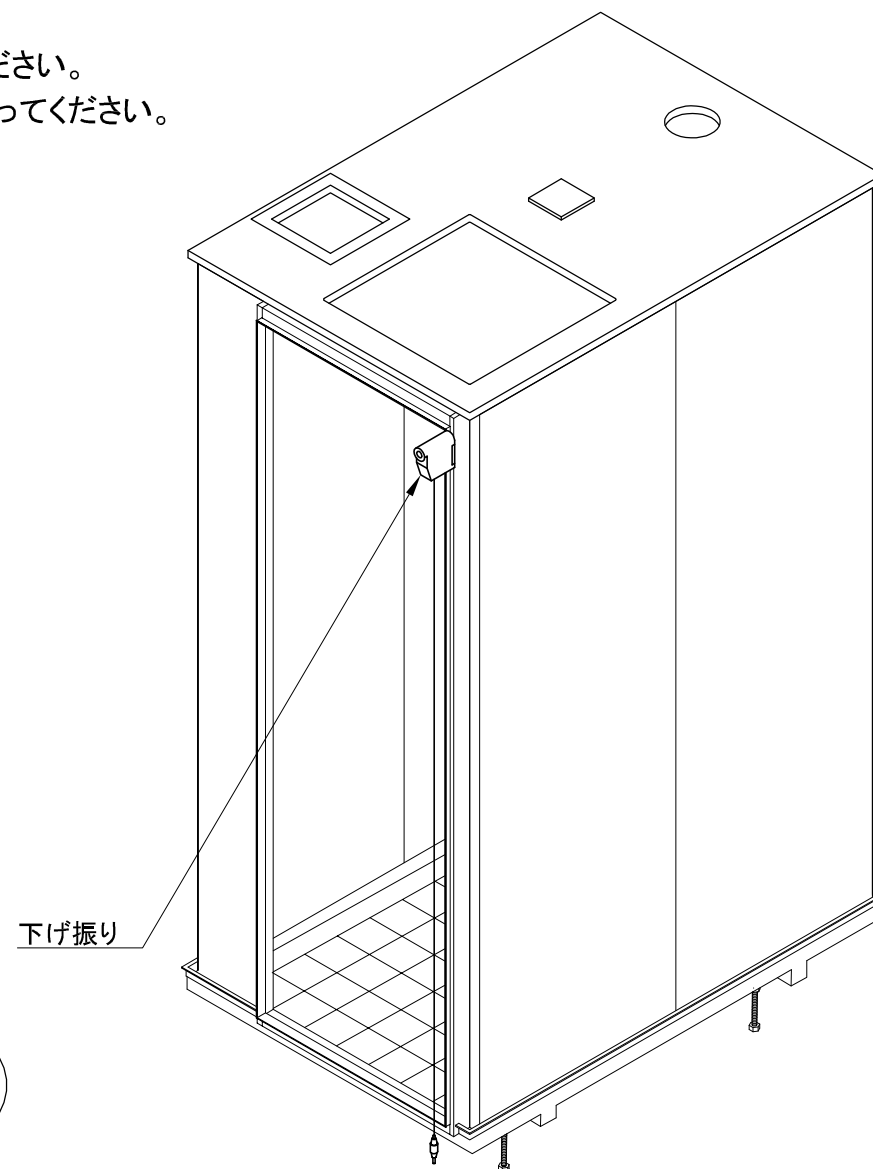
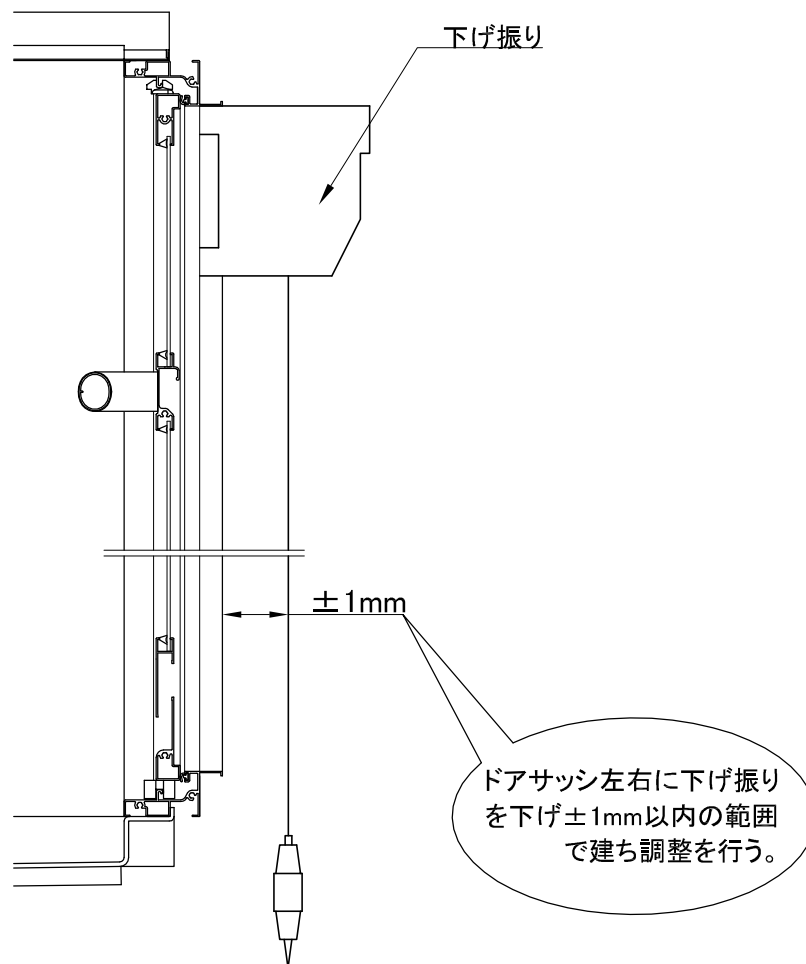
天井の開口部は折れ
やすい為、持ち方に
ご注意ください。

ドア枠にはビスを
固定しないこと。

作業前に

天井を固定する前に、天井と壁の中心に罫書きを入れ、天井が中心にくるように天井と壁の罫書き位置をあわせます。

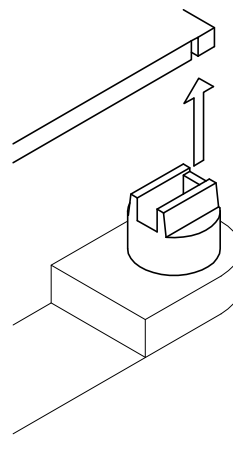
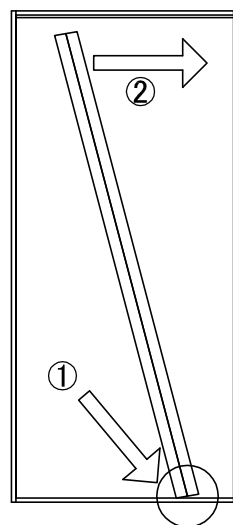
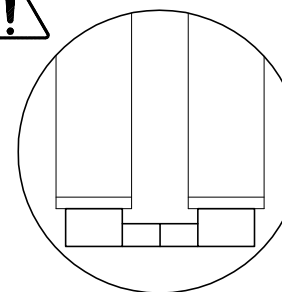
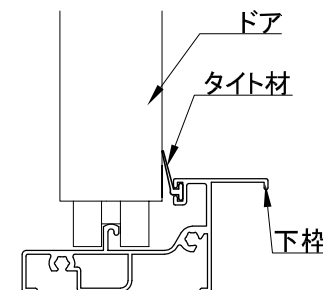
● 建ち を 調整する

本体建て込み後サッシの建ち及び本体位置の検査:調整を行ってください。
ドアサッシ左右に下げ振りを下げ±1mm以内の範囲で建ち調整を行ってください。

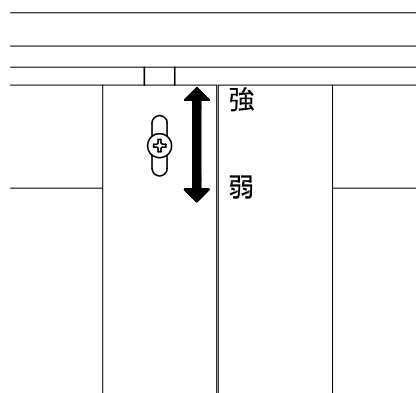
組説③-4	◆ドア本体取付◆	適用機種	スタンダード	レインシャワー				●●● sanwacompany	

● ドア建て込み

作業前に

オプションの片開きドアの場合はドアに同梱されている取付説明書をご参照ください。

ドアを折りたたんで図のように斜めにし、まず下戸車・下ピボットをレールに引っかけてください。そのまま起こすようにして上戸車・上ピボットをレール切欠にはまり込むよう上ピボットの向きに注意してください。

※下戸車と下ピボットのガイドが向き合うようにして吊込んでください。
※逆に向けると全閉しなかったりピボットがはずれたりします。

下枠タイト材は、挟まないように立ち上げた状態で、ドアを建込んでください。
※水密性が損なわれる恐れがあります。

● ラッチ調整

ドア建込み後、召合せ框上下のラッチ調整を行ってください。

部材関係項目

【基本仕様】

◆事前取付【スタンダードタイプ】①◆

◆事前取付【スタンダードタイプ】②◆

◆SUSカバー取付(1)◆

◆SUSカバー取付(2)◆

◆SUSカバー取付(3)【スタンダードタイプ】◆

◆SUSカバー取付(4)◆

◆化粧鏡取付(1)◆

◆化粧鏡取付(2)◆

◆化粧棚取付◆

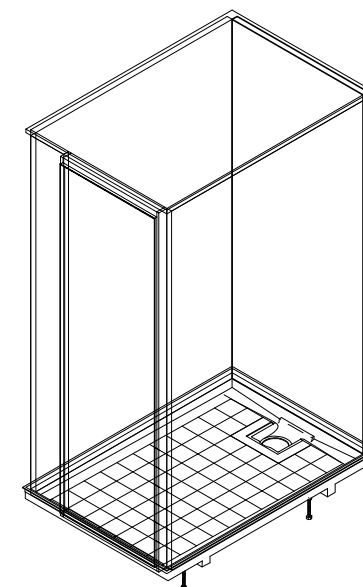
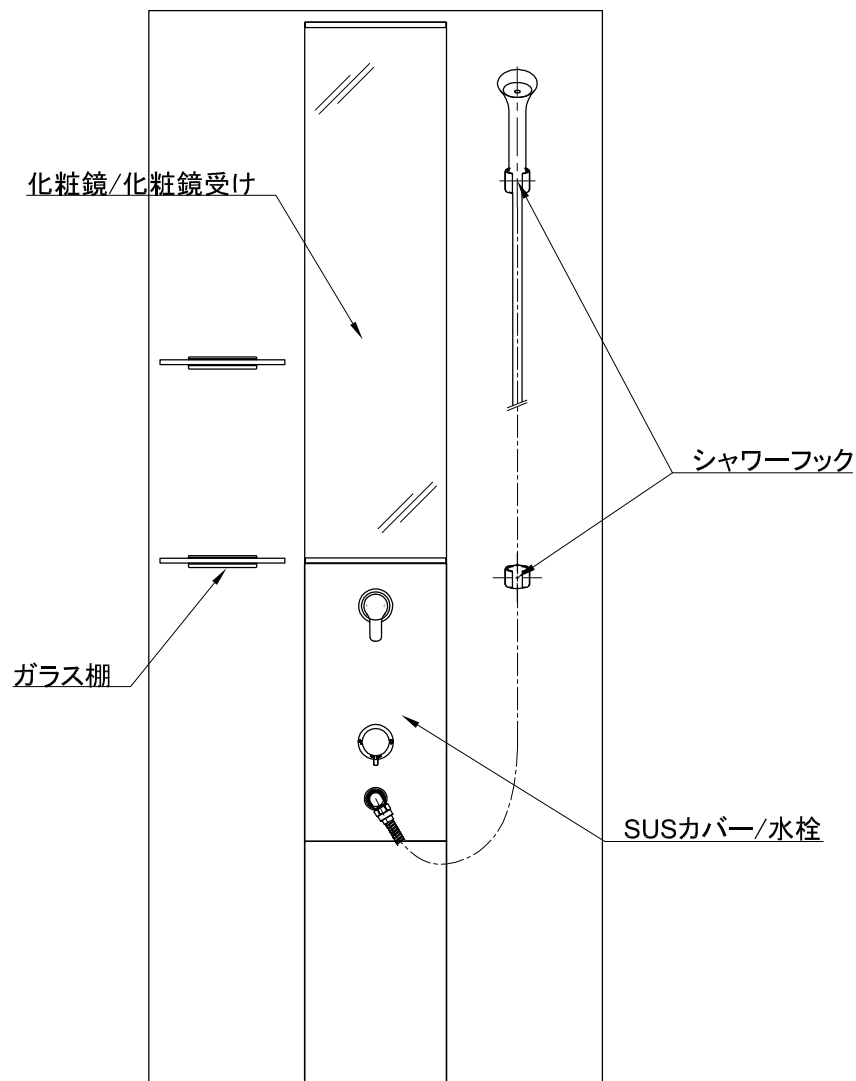
◆シャワーフック取付◆

◆スライドバー取付◆

【レインシャワータイプ】

◆事前取付【レインシャワータイプ】①◆

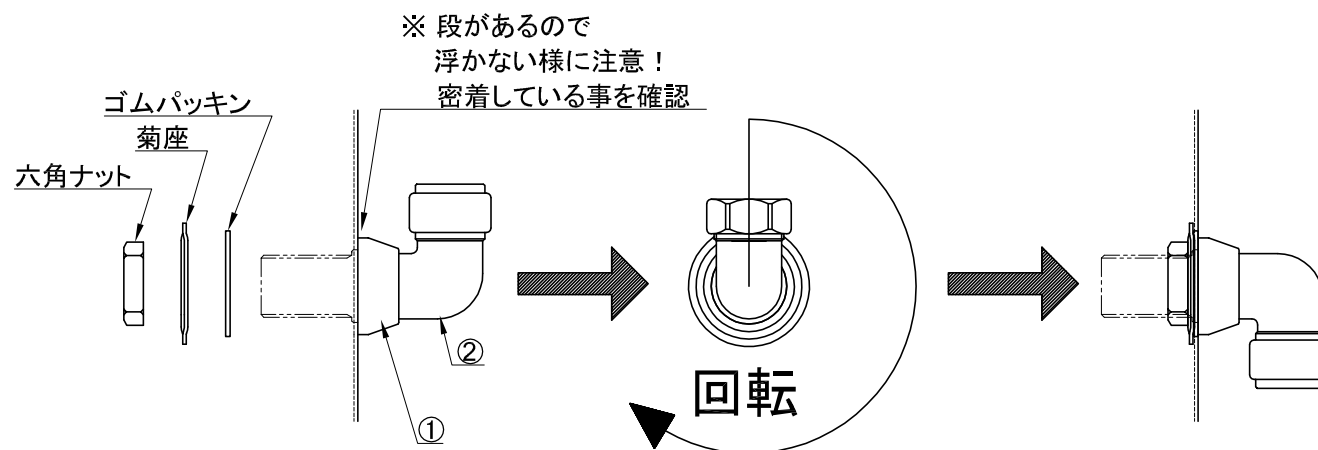
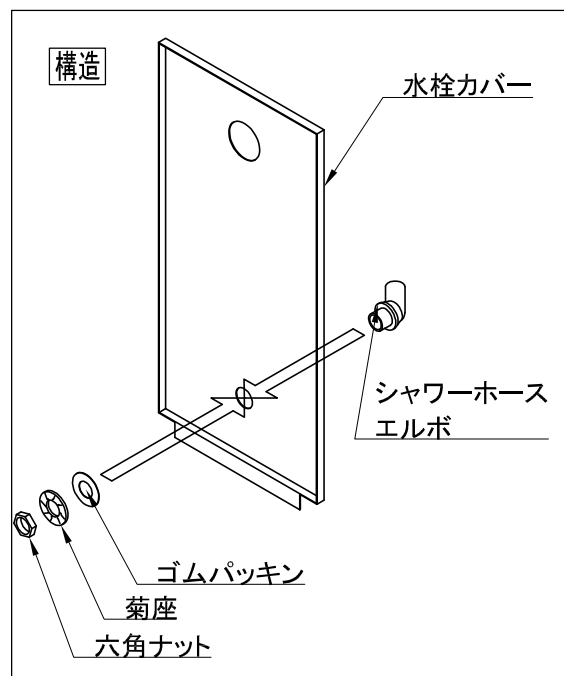
◆事前取付【レインシャワータイプ】②◆

◆SUSカバー取付(3)【レインシャワータイプ】◆

● SUSカバーに水栓を取り付ける

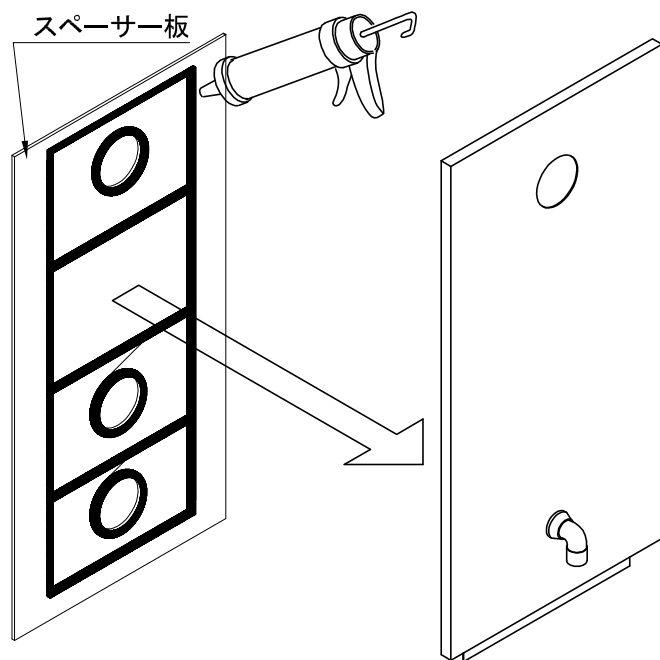
SUSカバーを壁に取り付ける前に、水栓を取り付けます。

作業前に

本図は水栓取付の概略を表しています。
漏水等、重大な事故に繋がる恐れがある為、詳細は水栓に同梱されている取付説明書を必ずご確認頂き、確実に取り付けてください。

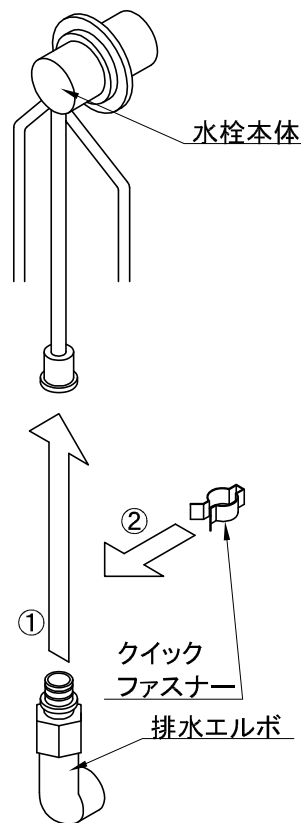
順序1

・①と②が締まりきった状態を確認し、差し込み口を上に向けた状態で水栓カバーにシャワーホースエルボを差し込みます。
・図の順でシャワーホースエルボを固定します。

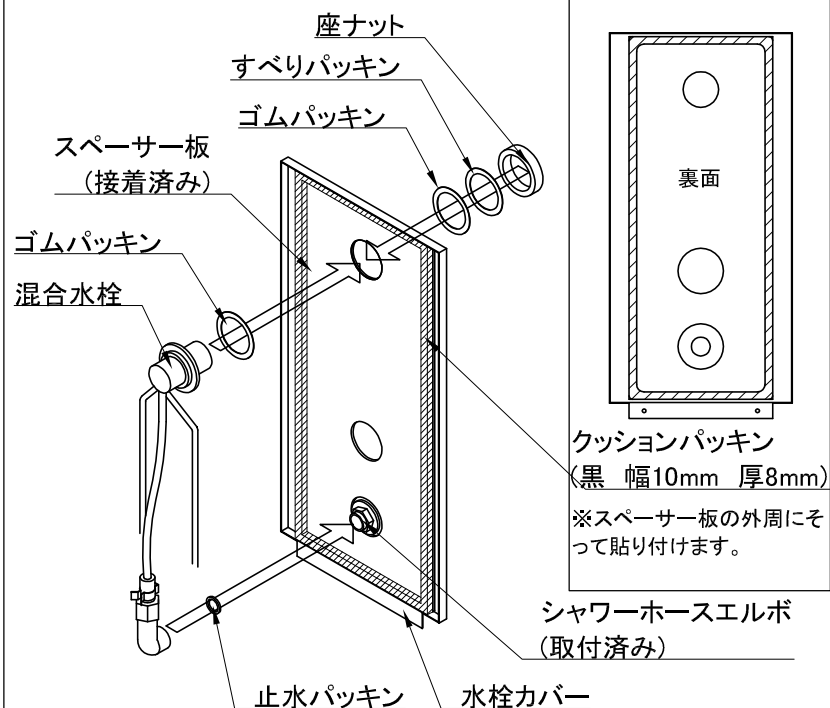
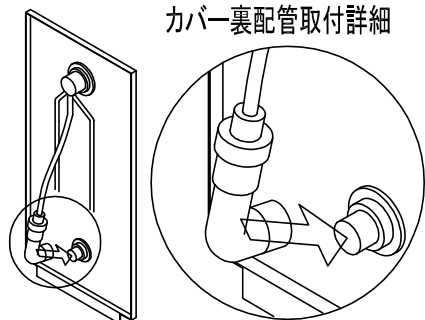
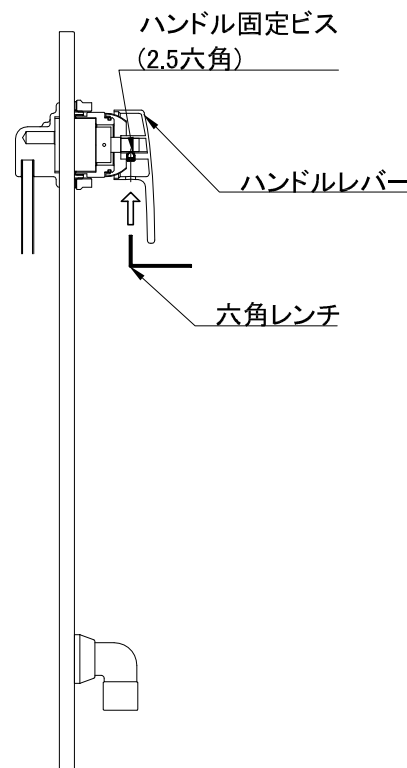
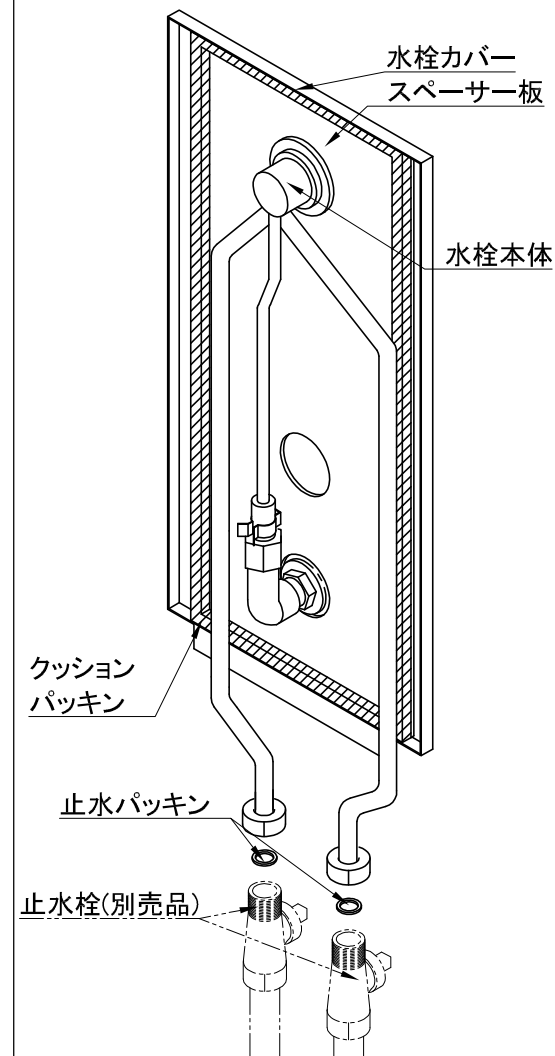
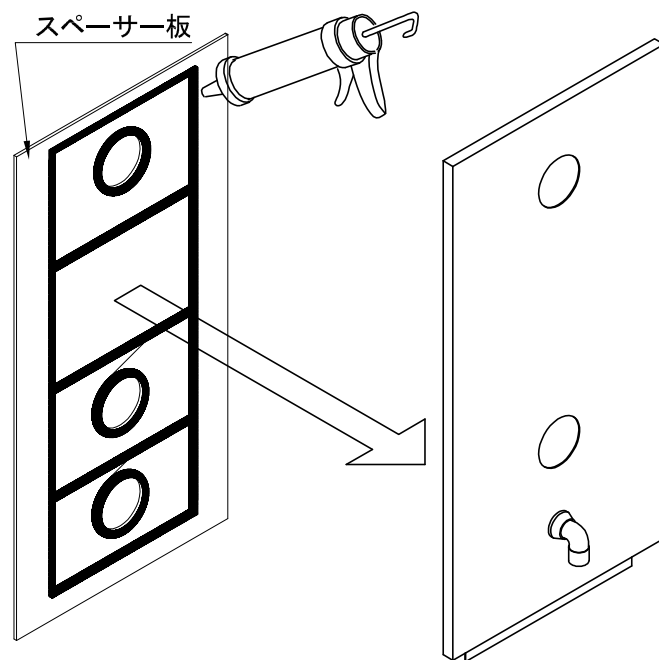
※レインシャワー仕様も同様

順序1

・シリコンは3mm～5mm程度の太さで図のように塗布します。

・<u>穴開口の周囲に線が途切れないようにシリコン塗布をしてください。</u>

・水栓カバーにスペーサー板を強く押し付けしっかり貼り付けます。
※押さえたときにシリコンがはみ出さないように注意してください。

順序2

水栓に配管エルボを接続し、クイックファスナーで固定をします。

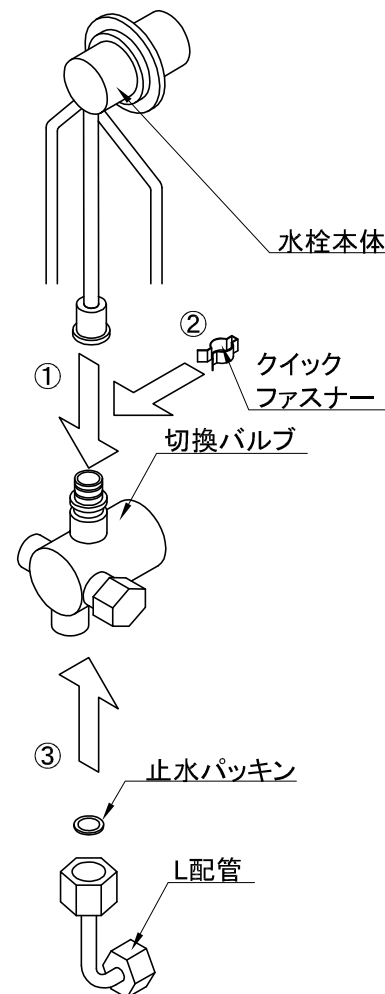
順序3
・下図の順で部材を取り付け、最後に座ナットを締めます。
座ナット
すべりパッキン
ゴムパッキン
スペーサー板
（接着済み）
ゴムパッキン
混合水栓
ポイント
裏面
クッションパッキン
（黒　幅10mm　厚8mm）
※スペーサー板の外周にそって貼り付けます。
シャワーホースエルボ
（取付済み）
止水パッキン
水栓カバー
カバー裏配管取付詳細
・接続部分に合うように配管を曲げます。
※配管は曲げるたび硬くなりますのでお気をつけてください。

・ハンドルレバーを固定します。
※ハンドルレバーの取付はユニットを組み立てた後でもかまいません。
ハンドル固定ビス
（2.5六角）
ハンドルレバー
六角レンチ

最終イメージ図
最終的には混合水栓を給水給湯管の止水栓(別売品)に接続します。
水栓カバー
スペーサー板
水栓本体
クッション
パッキン
止水パッキン
止水栓(別売品)

順序1

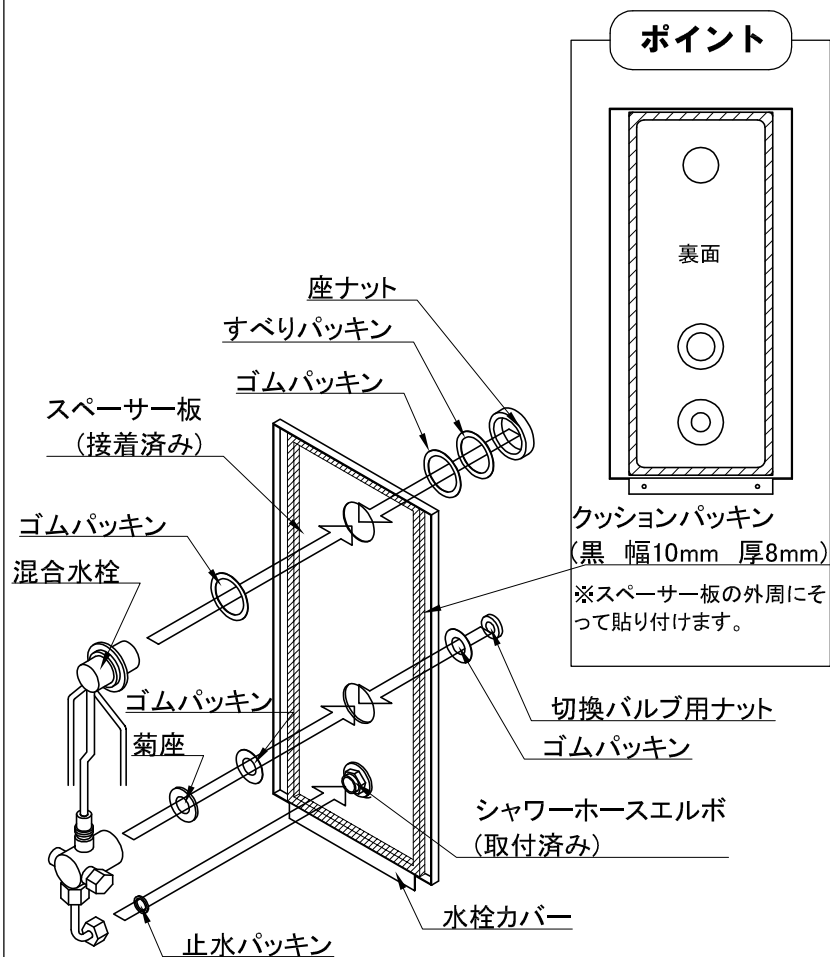
・シリコンは3mm～5mm程度の太さで図のように塗布します。

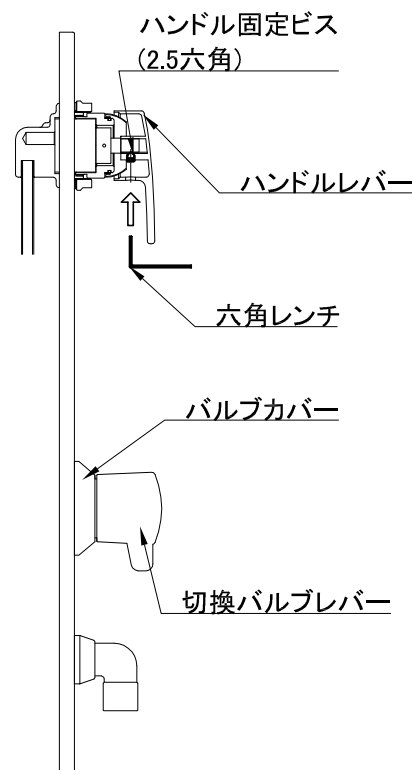
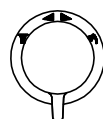
・穴開口の周囲に線が途切れないようにシリコン塗布をしてください。

・水栓カバーにスペーサー板を強く押し付けしっかり貼り付けます。
※押さえたときにシリコンがはみ出さないように注意してください。

順序2

水栓本体に切換バルブを接続し、クイックファスナーで固定します。
次に切換バルブをL配管につなぎます。

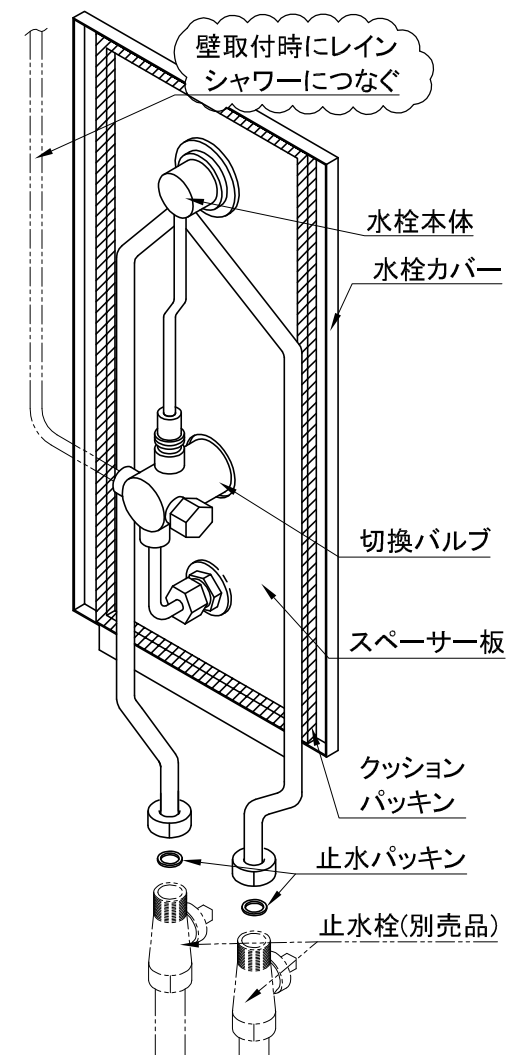
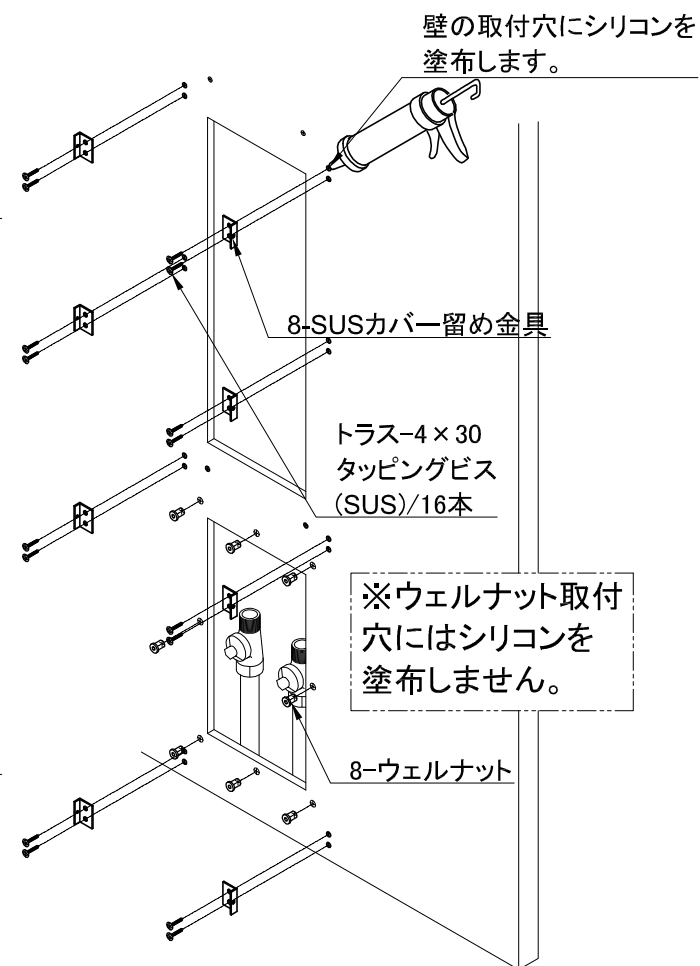
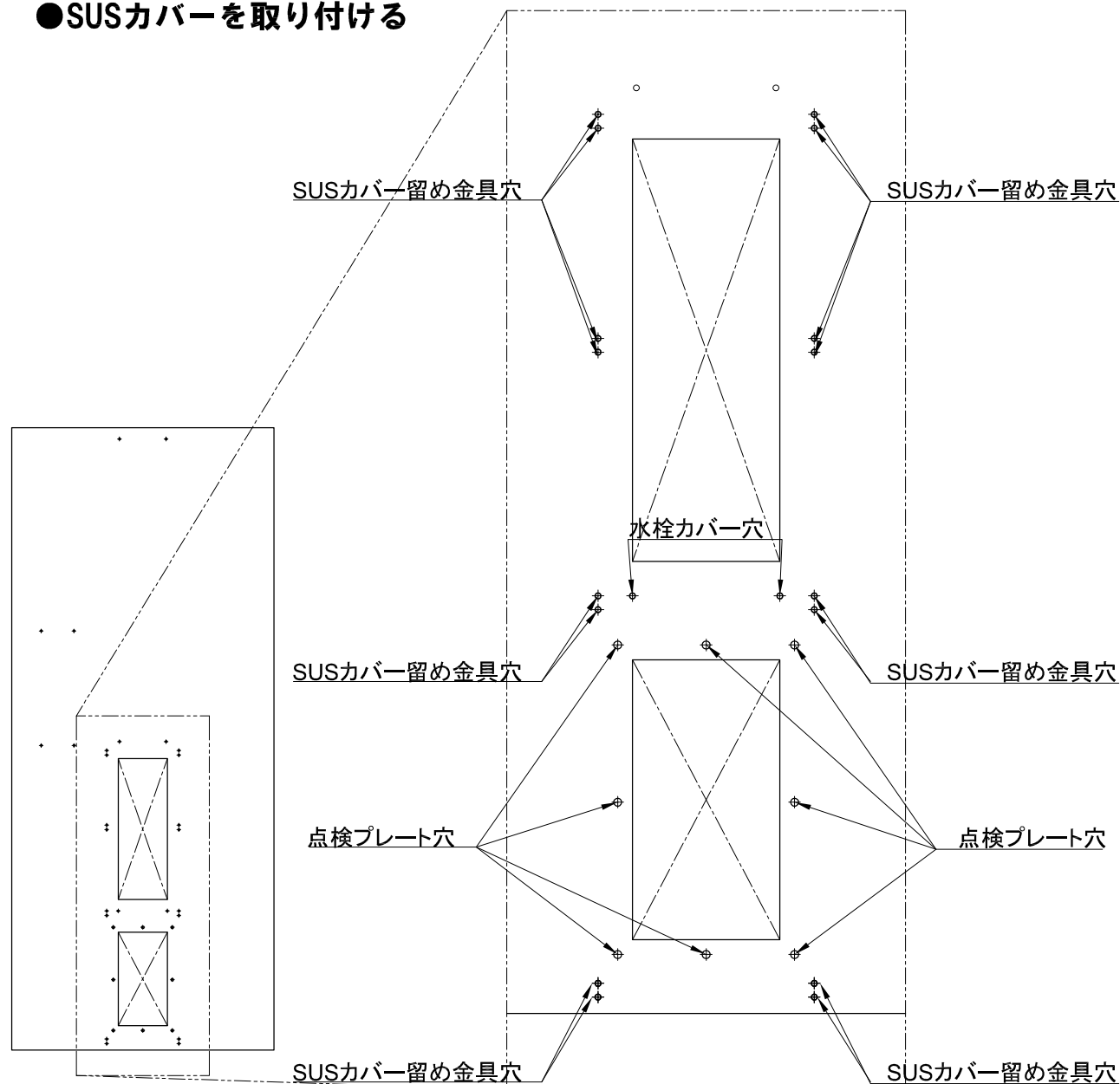
順序3

・下図の順で部材を取り付け、最後に座ナットと切換バルブ用ナットを締めます。

・ハンドルレバーを固定します。

※ハンドルレバー、切換バルブレバー、バルブカバーの取付はユニットを組み立てた後でもかまいません。

バルブカバー・切換バルブレバー取付詳細

・マークが中心にくるようにしてください。

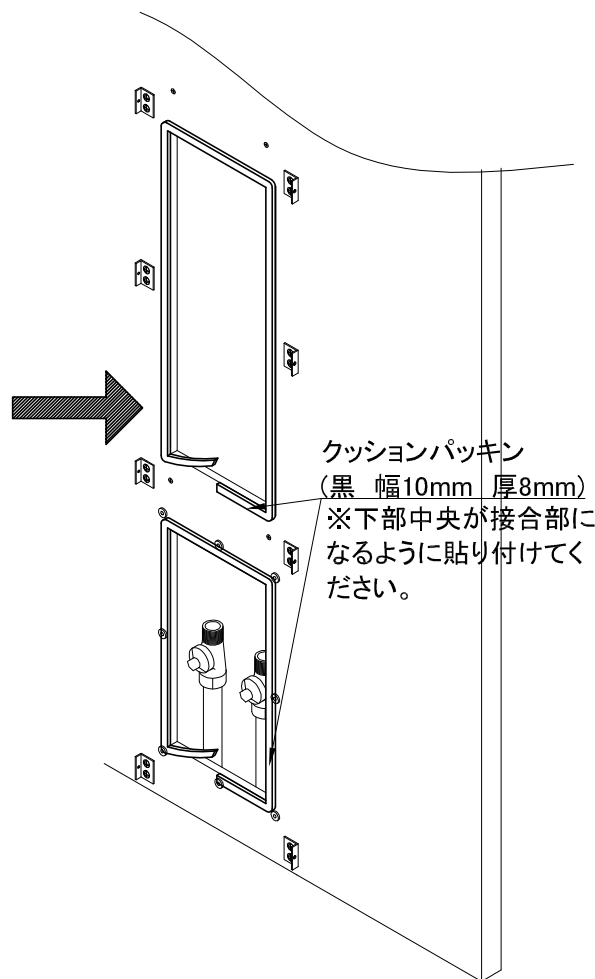
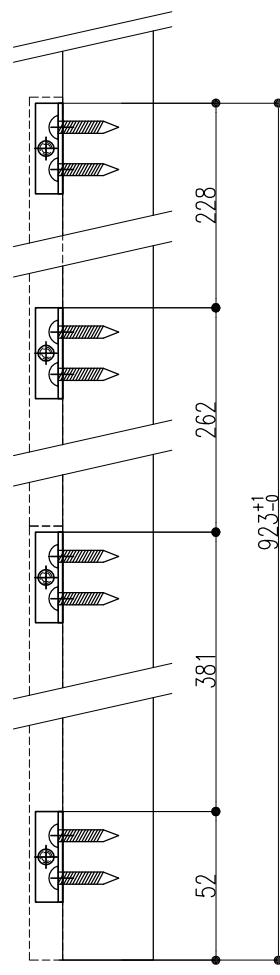
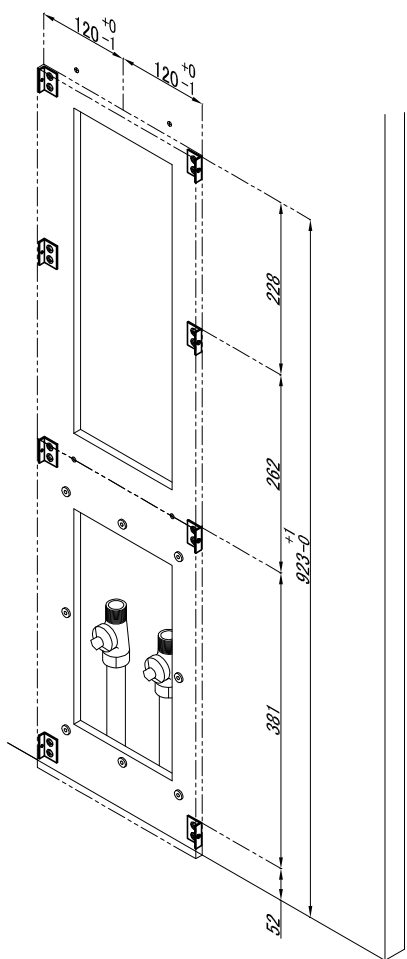
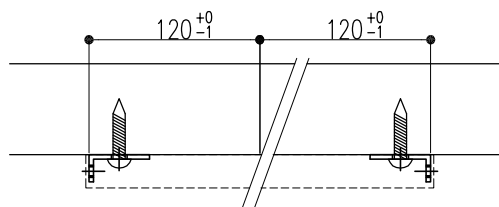
・レバーは突起が下向きにつくように取り付けてください。

最終イメージ図

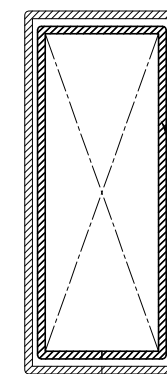
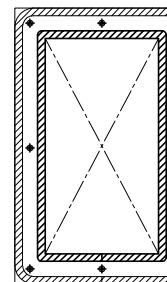
最終的には混合水栓を給水給湯管の止水栓(別売品)に接続します。

●SUSカバーを取り付ける

・SUSカバー留め金具を取り付けます。
・ウェルナットを取り付けます。

120 +0/−1　120 +0/−1

228　262　381　52　923 +1/−0

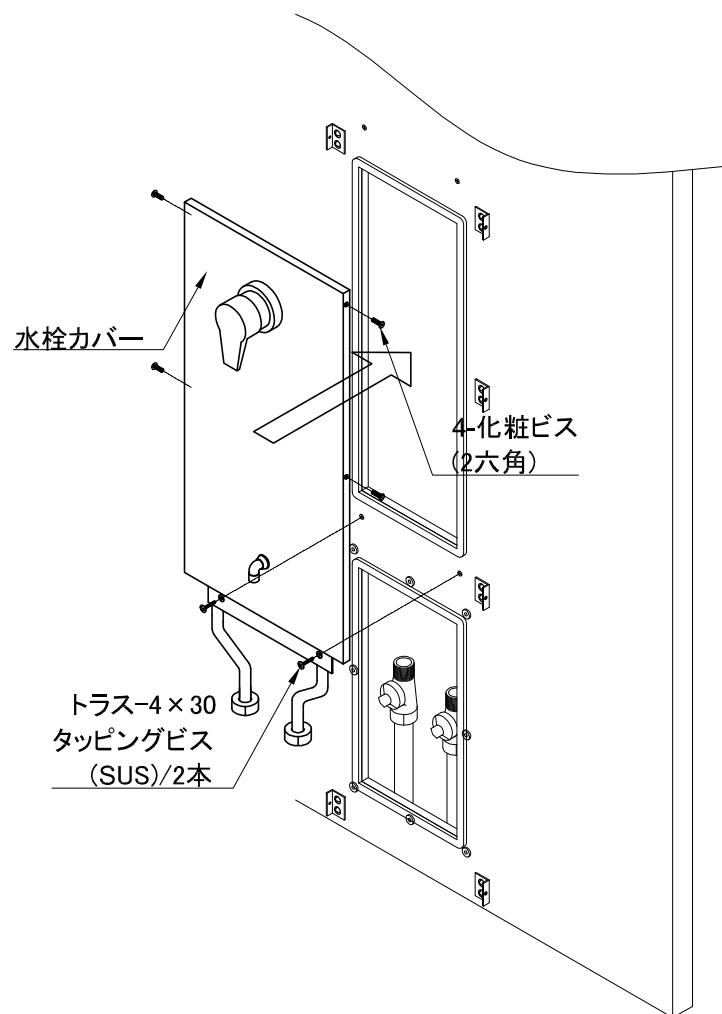
クッションパッキン
（黒　幅10mm　厚8mm）
※下部中央が接合部になるように貼り付けてください。

重要事項

器具プレートの外周と壁パネル開口部の周りにそってパッキンを貼り付けます。

上側

下側

パッキンの位置は器具側のパッキンと壁パネル側のパッキンの間に空間ができるように貼り付けてください。

・水栓カバーと点検口カバーを重ねて、側面の穴の位置合わせをしてください。

・上下側の開口に合わせて周囲にパッキンを巻きます。

・水栓カバーを取り付けます。

・給水給湯管と止水栓(別売品)を繋げます。

取付上のご注意

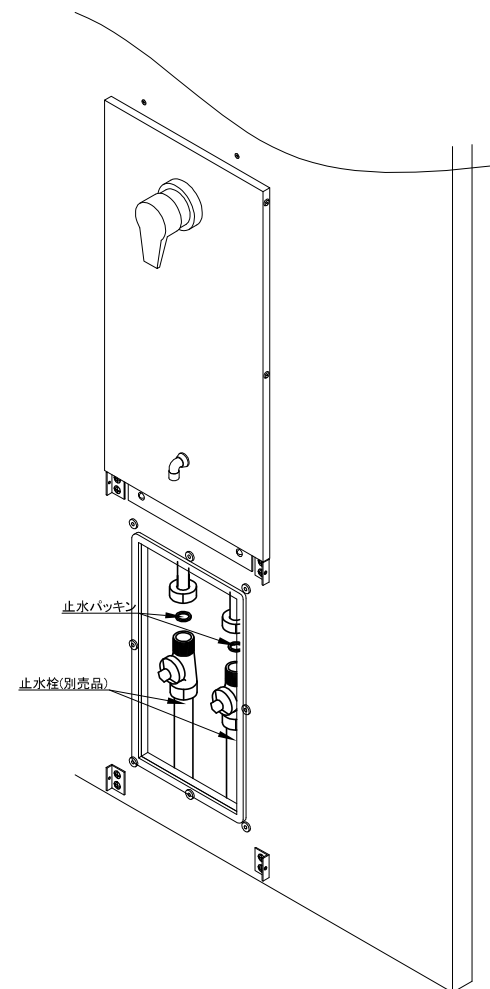
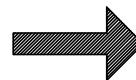
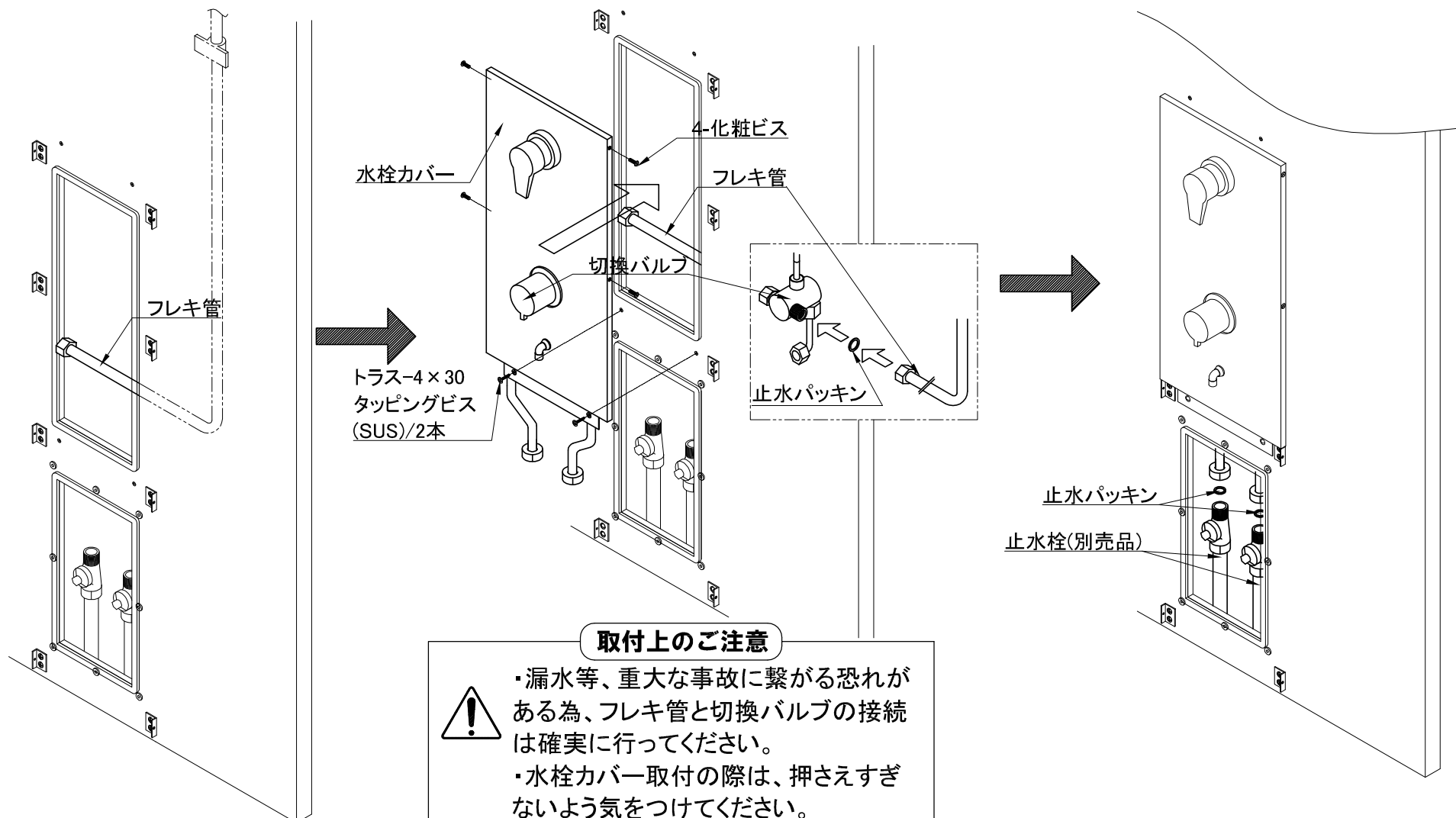
水栓カバー取付の際は、押さえすぎないよう気をつけてください。

水栓カバー
4-化粧ビス
フレキ管
切換バルブ
トラス-4×30
タッピングビス
(SUS)/2本
止水パッキン
止水パッキン
止水栓(別売品)

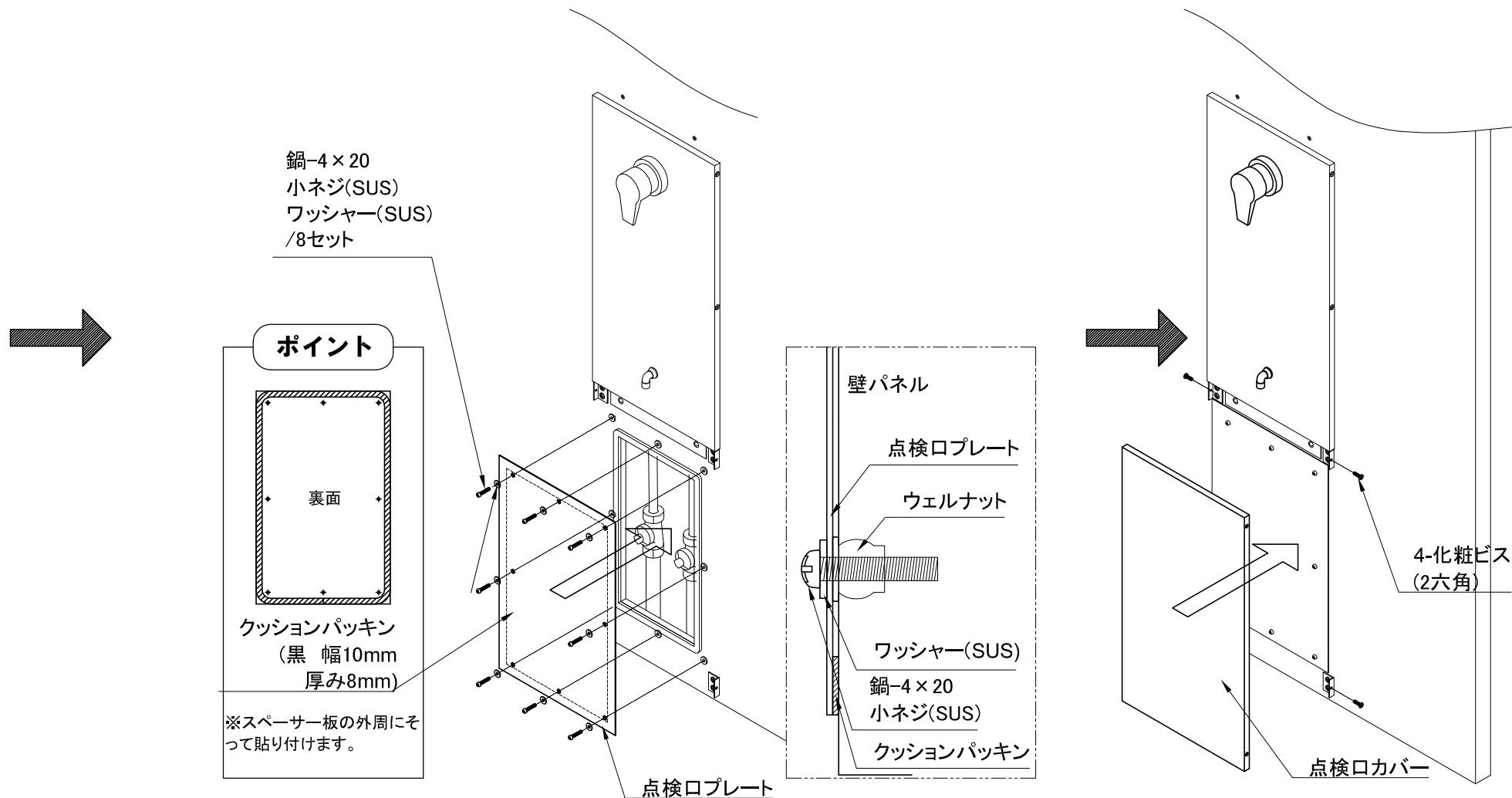
取付上のご注意

・漏水等、重大な事故に繋がる恐れがある為、フレキ管と切換バルブの接続は確実に行ってください。

・水栓カバー取付の際は、押さえすぎないよう気をつけてください。

・開口部からフレキ管を引っぱり出します。

・フレキ管と切換バルブを接続し、水栓カバーを取り付けます。

・給水給湯管と止水栓(別売品)を繋げます。

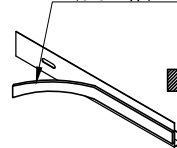
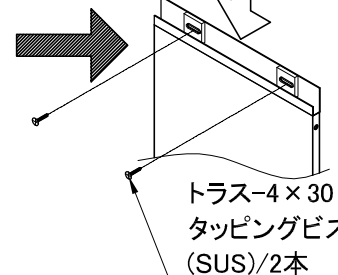
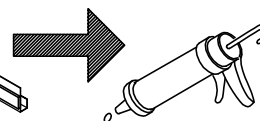
4-化粧ビス
(2六角)

点検口カバー

・点検口プレートにクッションパッキンを貼り付けます。
・壁パネルに点検口プレート(クッションパッキン貼り付け済み)を取り付けます。

・六角レンチを使い、側面の化粧ビスを軽く締め、問題なく取付ができるか確認をしてください。

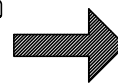
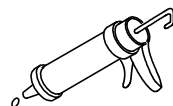
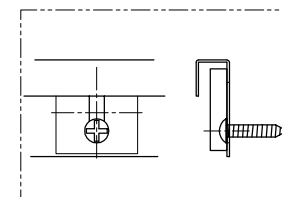
※シリコン塗布を行う際に点検口カバーは外します。

●鏡受けを取り付ける

クッションパッキン
（白　幅15mm　厚2mm）

鏡受け(下)
※長穴が横向

水栓カバーに
押しつけなが
らビス止め

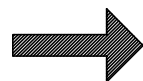
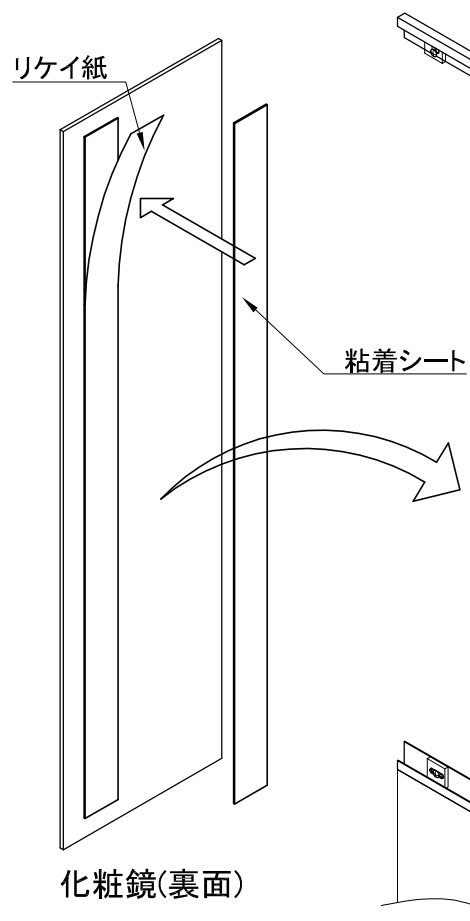
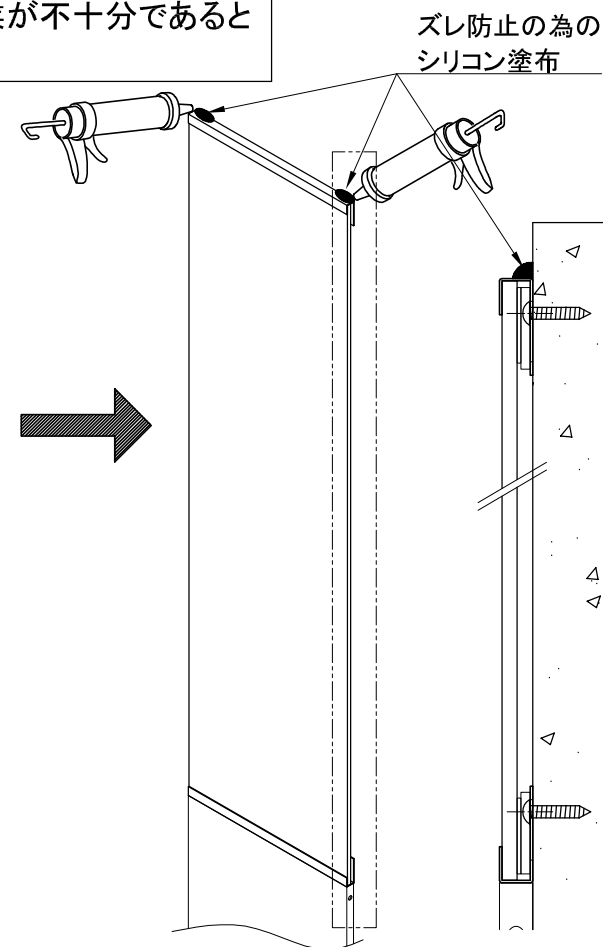
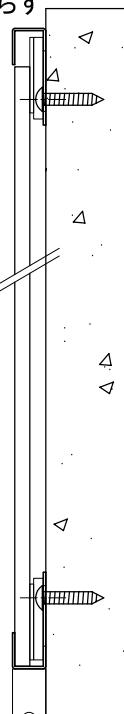
※ 鏡受け（下）は
動かないように
完全に固定します

トラス-4×30
タッピングビス
（SUS）/2本

・鏡受け(下)の表面にクッションパッキンを貼り付けます。
・壁の取付穴にシリコンを塗布します。
・水栓カバーと鏡受け(下)との間に隙間できないように取り付けます。

・壁の取付穴にシリコンを塗布します。
・取付ビスで鏡受けを取り付け、鏡受けを上へスライドしてください。
※鏡受け(上)は上下にスライドする程度にネジの締付け具合を調整します。

●化粧鏡を取り付ける

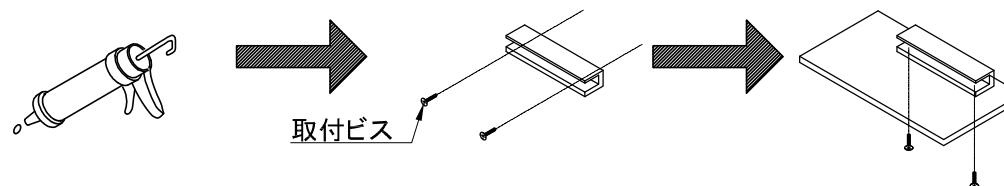
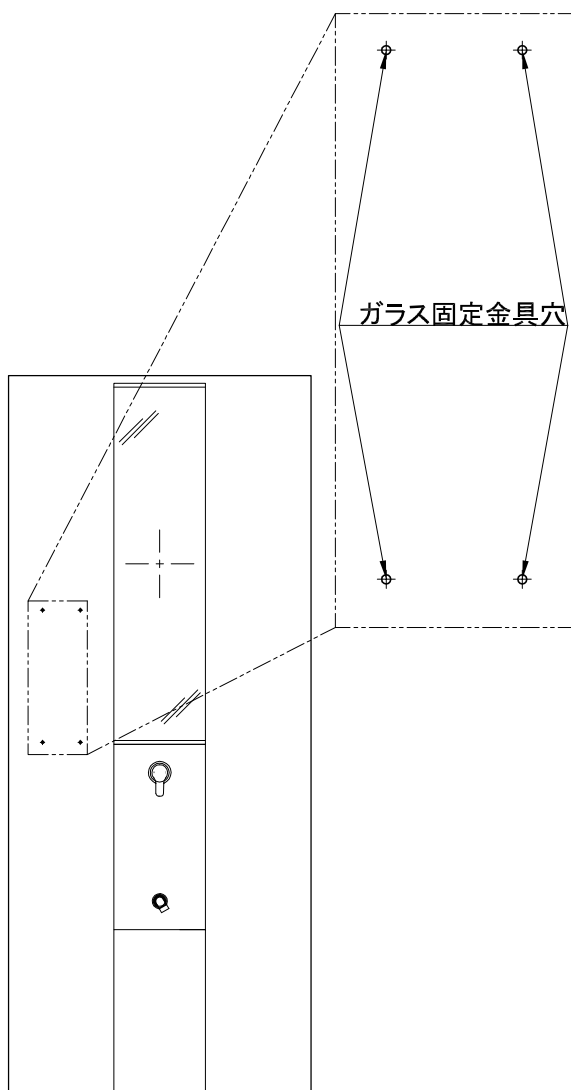
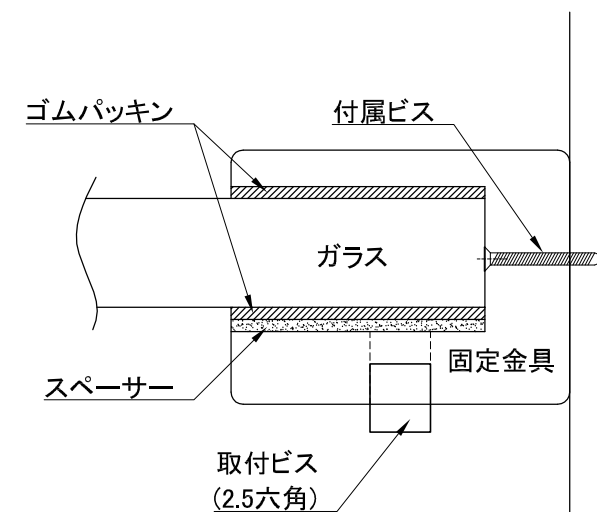
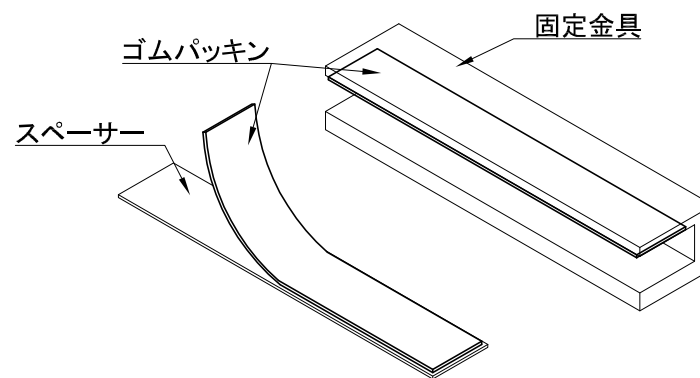
取付上のご注意

ミラーの壁パネルへの圧着、及び鏡受け(上)の下方への押し下げ作業は必ず確実に行ってください。これらの作業が不十分であるとミラー落下事故が発生する恐れがあります。

・粘着シートのリケイ紙を剥がし、ミラー裏面に貼り付けます。
・もう片面のリケイ紙も剥がし、ミラーを壁に貼り付けます。
※粘着シートは鏡面積の10%以上となるように均等　に貼り付けてください。

・ミラー本体を鏡受け(下)に斜めに傾けながらはめ込み、ミラー本体を壁パネルに押し当ててください。

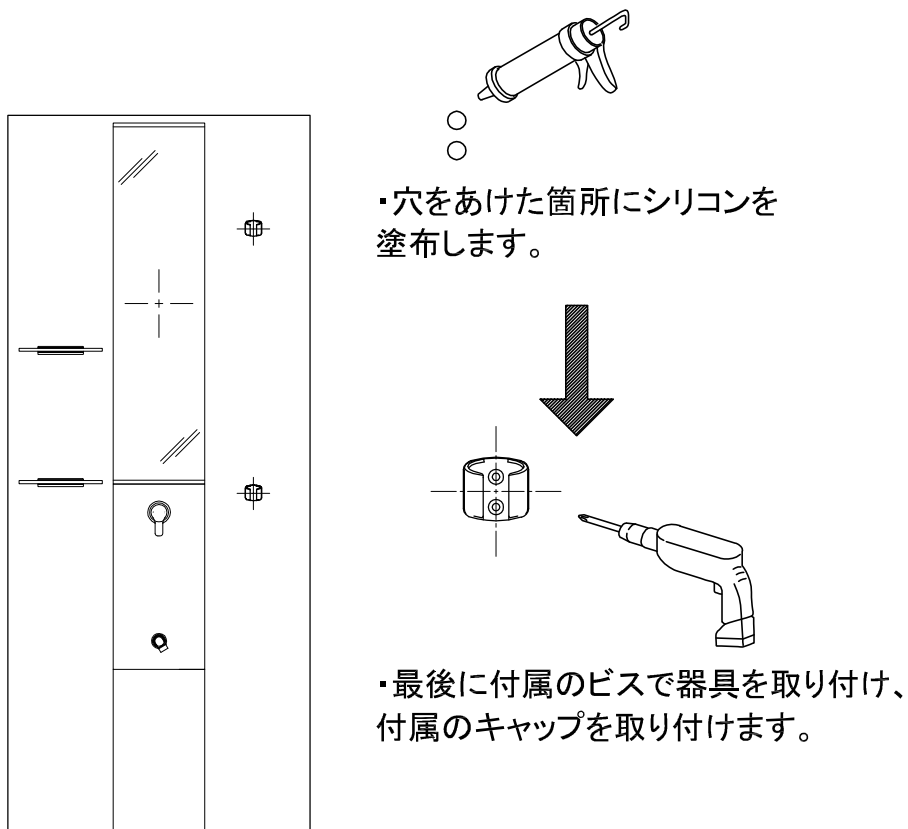
・鏡受け(上)を下へずらして、ミラーを固定してください。
・最後にズレ防止の為、鏡受け(上)と壁の間の両端にシリコンを塗布します。

※ミラー取り付け時にミラー木口面やスミ部に傷等の発生が無いよう注意してください。

●化粧棚を取り付ける

・固定金具とスペーサーにゴムパッキンを貼り付けます。
・壁の取付穴にシリコンを塗布します。
・付属のビスでガラス固定金具を壁に取り付けます。
・図のように固定金具（ゴムパッキン面は上向き）にスペーサーをセットします。
・図の位置にガラスを差し込み、下から取付ビスで挟み込みます。

●シャワーフックを取り付ける

※取付穴の開口は「組説②-3◆壁パネル下準備(1)◆」をご参照ください。

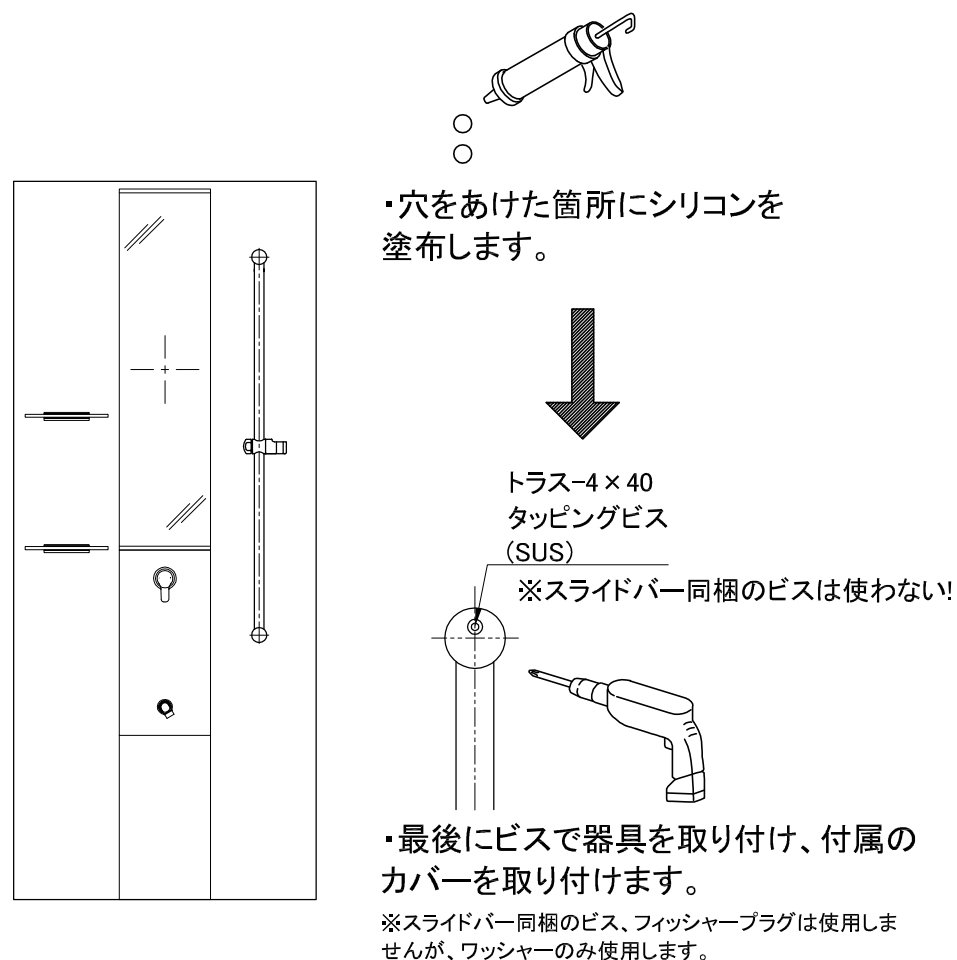
・穴をあけた箇所にシリコンを塗布します。

・最後に付属のビスで器具を取り付け、付属のキャップを取り付けます。

●スライドバーを取り付ける

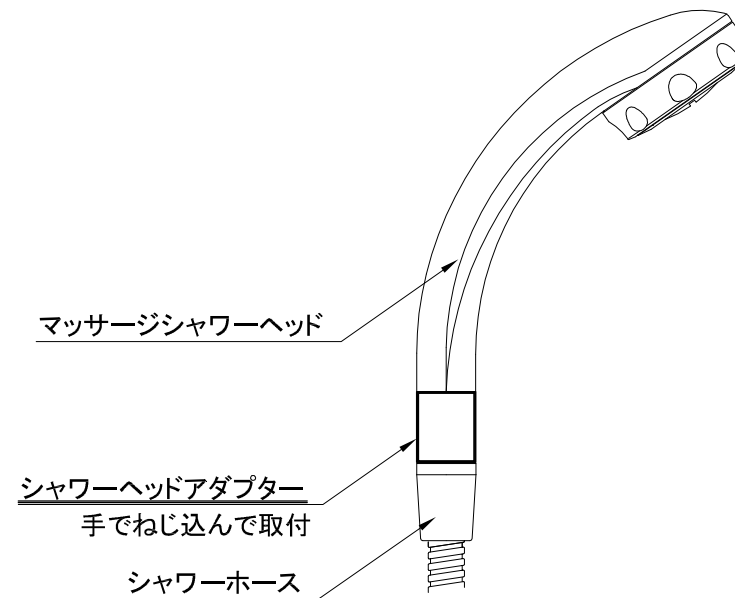
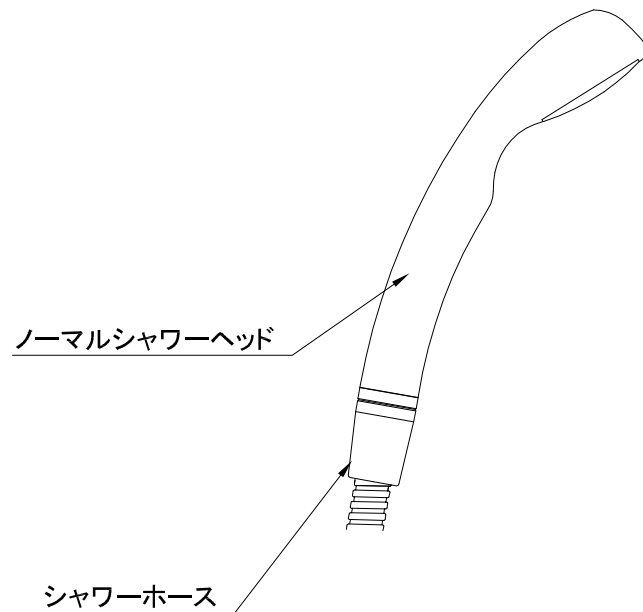
※取付穴の開口は「組説②-3◆壁パネル下準備(1)◆」をご参照ください。

・穴をあけた箇所にシリコンを塗布します。

・最後にビスで器具を取り付け、付属のカバーを取り付けます。

※スライドバー同梱のビス、フィッシャープラグは使用しませんが、ワッシャーのみ使用します。

作業前に

必ず同梱されている取付説明書をご参照ください。

●ノーマルシャワーヘッド/マッサージシャワーヘッドを取り付ける。

マッサージシャワーヘッド仕様の場合は、シャワーヘッドとシャワーホースとの間にシャワーヘッドアダプターを取り付けてください。

部材関係項目

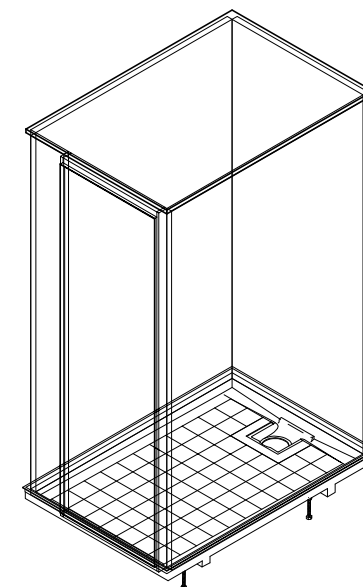
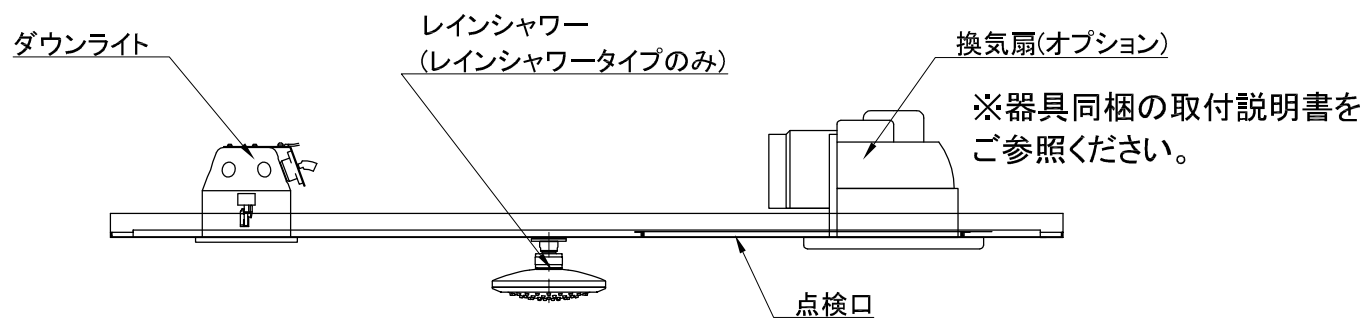
【基本仕様】

◆ダウンライト取付◆

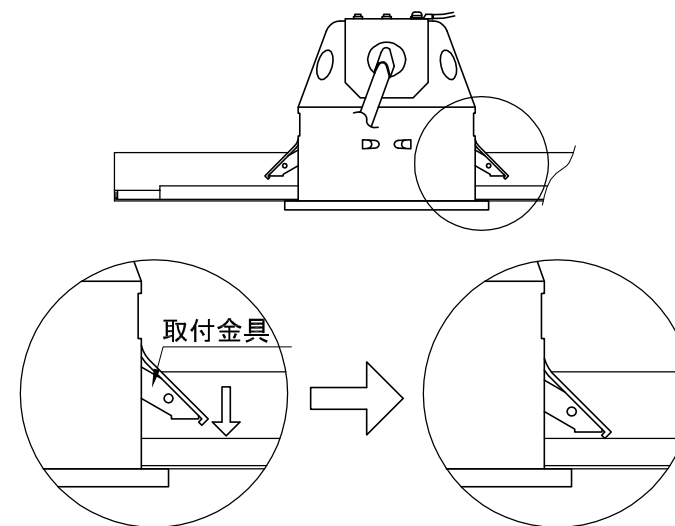
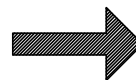
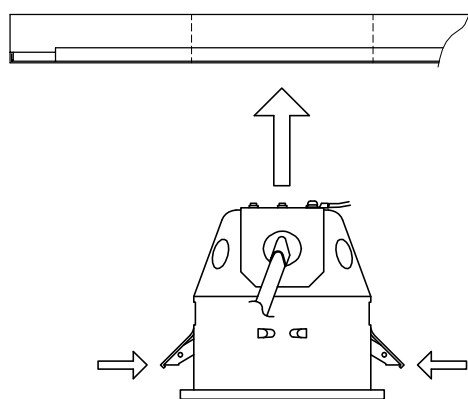
◆点検口取付◆

【レインシャワータイプ】

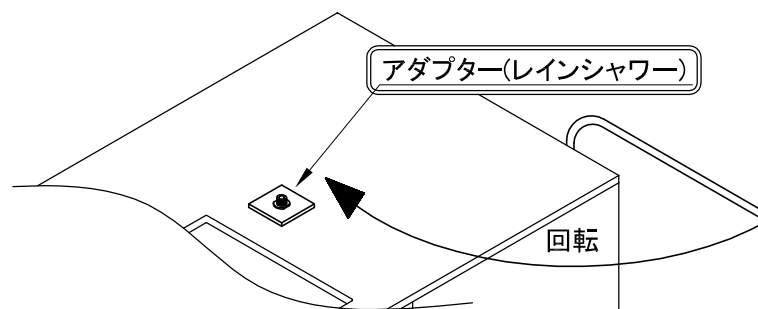
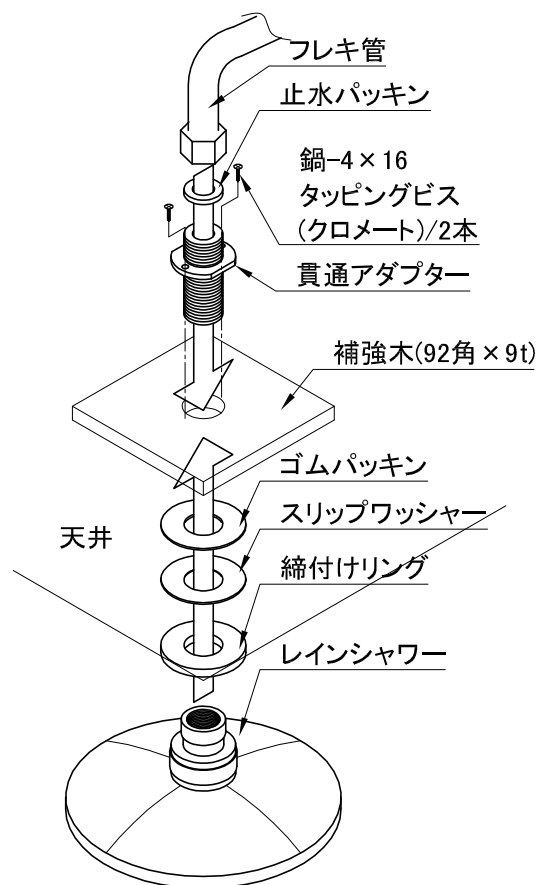
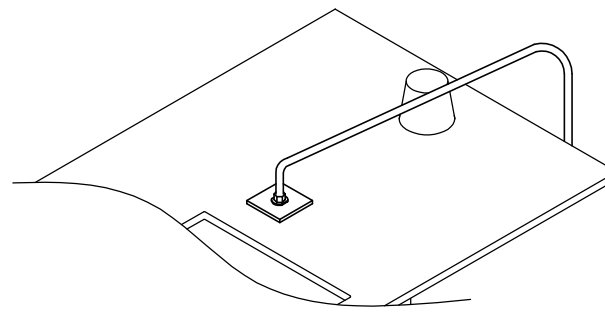
◆レインシャワー取付◆

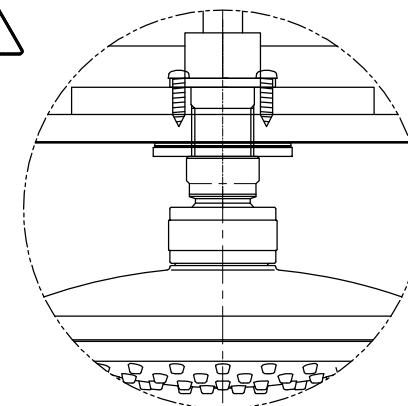
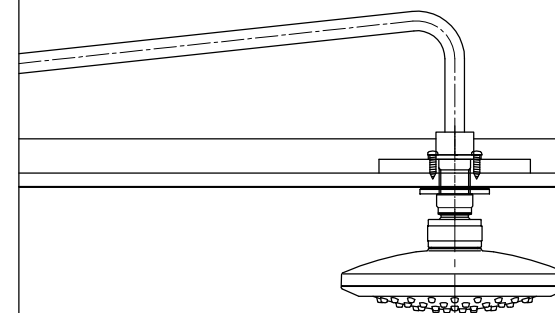
※器具同梱の取付説明書をご参照ください。

● ダウンライトを取り付ける

作業前に

必ず同梱されている取付説明書をご参照ください。

・取付金具を本体に押し込みながら下から天井穴に差し込みます。
※事前にカバーは外してください。

・取付金具を下げて照明器を天井に挟み込みます。
・最後にカバーを取り付けます。

● レインシャワーを取り付ける。

・天井点検口から左図のように天井のφ23穴に貫通アダプター(レインシャワー)を取り付けます。

・フレキ管を引っぱり出し、アダプターに接続します。

取付上のご注意

貫通アダプター固定ビスは必ず決められた長さのものをご使用ください。
※長すぎると天井パネルをキズつける恐れがあります。

フレキ管は図のように勾配をつけます。

● 点検口を取り付ける

・点検蓋を天井にのせ、落下防止ロープを補強木にビスで固定します。

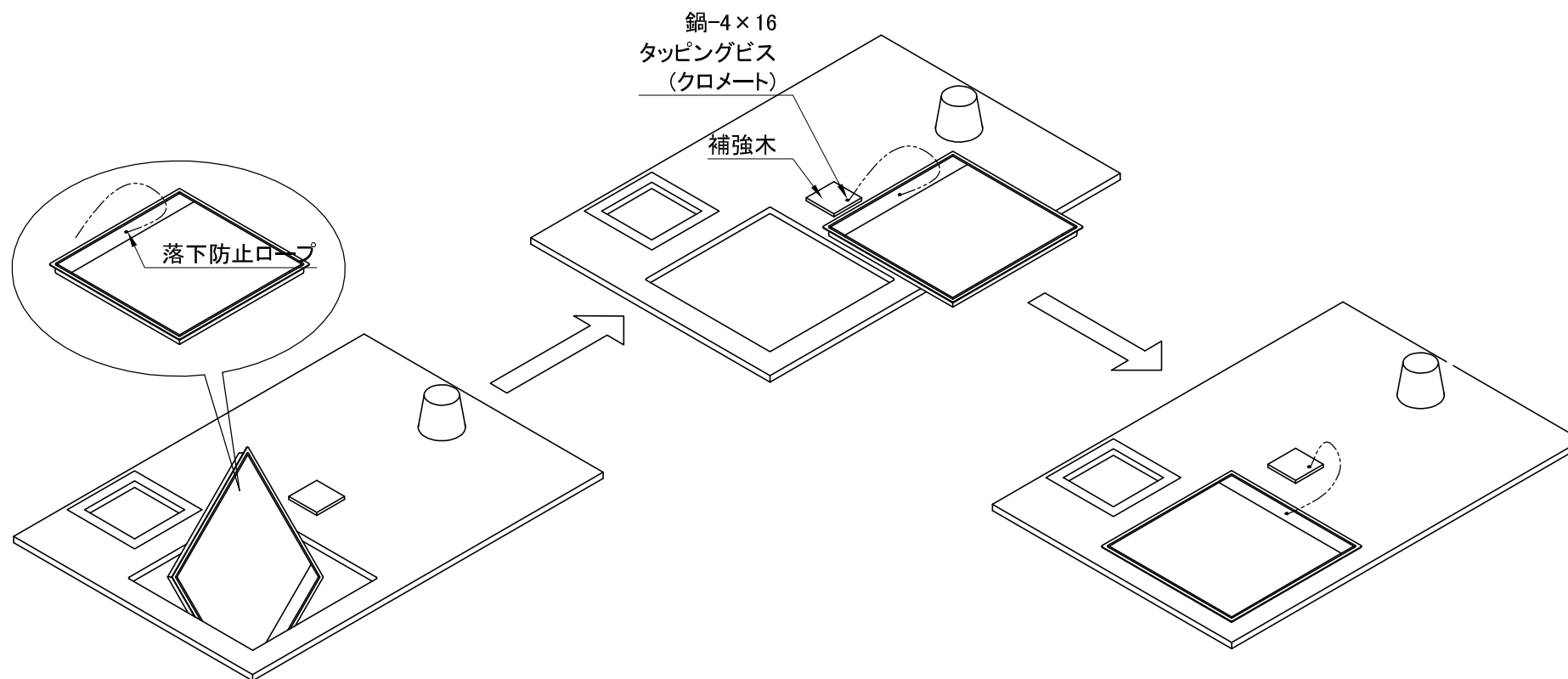
取付上のご注意

落下防止ロープの固定ビスは必ず決められた長さのものをご使用ください。

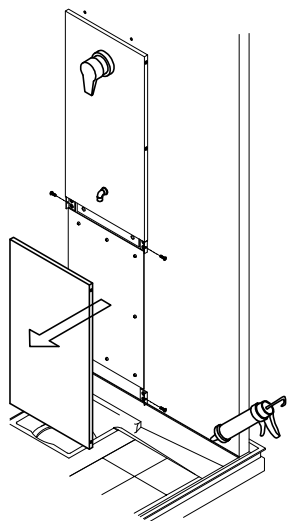
※長すぎると天井パネルをキズつける恐れがあります。

落下防止ロープ

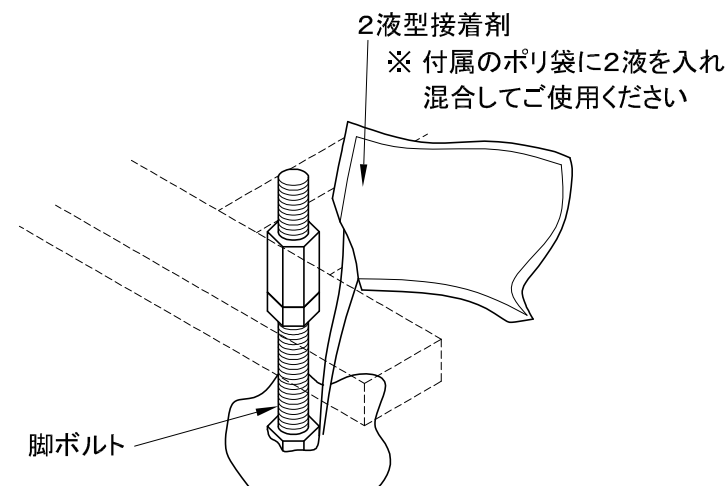
鍋-4×16
タッピングビス
（クロメート）

補強木

● シーリング

・壁パネル、天井パネル、防水パンのジョイント部全てに
マスキングテープを貼り付け、シリコン塗布してください。

作業前に

シリコン塗布をする前に、点検口カバーを外して下さい。
化粧面の防水パンと壁パネルのジョイント部分をシリコン塗布するときに、点検口カバーに付く恐れがあります。

●脚ボルトを固定する。

・2液型接着剤を使用して
脚ボルトを下記要領で躯体に固定します。

⚠ 同封されている接着剤は2液タイプです。
混合不良の無い様注意してください。

設置上のご注意

レベル調整後、洗場の床面にのり、踏みしめるなどして「床なり」などの異音が無いことを確認してください。
床鳴りが発生する場合は、確実に脚ボルトを据付け面に設置してください。

清掃

汚れはやわらかい布またはウレタンスポンジに市販の浴室用
中性洗剤をつけて洗い落としてください。

●切断・穴あけの際に飛び散った鉄粉が残っているともらいさびの原因になるので 掃除機などで入念に除去してください。

●トラップ内部はゴミがたまりやすいので入念に清掃してください。

清掃の際、下記のものは使わないでください。
（人体へ影響を与えたり、製品に不具合が生じるおそれがあります。）

●「酸性」「アルカリ性」の表示の洗剤
●固形または、粉末の塩素系洗浄剤・漂白剤
●薬品(塩酸)
●シンナー・アセトン等の溶剤
●クレンザー
●みがき粉
●ナイロンたわし
●金属たわし
●サンドペーパー等

取扱説明書類について

本体および各器具に同梱の取扱説明書等は、大切に保管の上、
必ず全て揃えてお客様にお渡しできるようにしてください。

廃棄物について

部材を処分する場合は、材質を確認して許可を受けている処理業者へ
依頼するか、破砕の上、許可された処理場で処理してください。